

2021年3月期 決算説明資料

2021年5月11日

株式会社メイテック

代表取締役社長 グループCEO

國分 秀世

- 1. 2021年3月期 業績**
- 2. 中期経営計画の進捗**
- 3. 2022年3月期 業績予想**
- 4. ご参考資料**

5

- 本日はメイテック決算説明会にご参加いただきありがとうございます。
- 本日はリモート開催となり、皆様にはご不便をお掛け致しますが何卒ご了承願います。
- 1年を振り返ると、世界的な新型コロナ感染の影響があり、経済活動に大きな支障があったといえます。同時に、当社を取り巻く技術開発のトレンドについても、
新型コロナ感染に連動するように加速したといえます。当社はお客さまに対して、高い付加価値を提供し、
技術力をもとにした新たな製品開発、技術革新にお応えできるような事業を展開していきます。これからも技術提供サービスを通じて、世界の方々に貢献すべく経営を行ってまいりますので、今後ともご理解とご支援のほど、よろしくお願い致します。
- では、2021年3月期 業績、中期経営計画の進捗、
2022年3月期 業績予想、を説明させていただきます。
- 「ご参考資料」は、のちほどご覧ください。

1. 2021年3月期 業績

- まず、2021年3月期の業績を説明します。

2021年3月期業績 グループ連結

- ✓ 前期比で売上高は4.3%減収⇒感染症拡大で景況悪化による稼働率と稼働時間の低下影響
- ✓ 営業利益は20.8%減益⇒稼働時間低下を主因とする労務費減少及び販管費減少で、売上高減収を補えなかったため

(百万円未満切捨て)	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2021年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	100,995	96,626	▲4,369	▲4.3%	97,500	▲874
売上原価	73,823	72,203	▲1,620	▲2.2%	72,700	▲497
原価率	73.1%	74.7%	+1.6%			
販売管理費	14,245	14,188	▲57	▲0.4%	14,900	▲712
営業利益	12,926	10,234	▲2,692	▲20.8%	9,900	+334
営業利益率	12.8%	10.6%	▲2.2%		10.2%	+0.4%
経常利益	12,975	10,306	▲2,668	▲20.6%	10,000	+306
特別損益	△3	△4	▲1			
税引前当期純利益	12,971	10,301	▲2,669	▲20.6%		
親会社株主に帰属する当期純利益	9,093	7,028	▲2,064	▲22.7%	6,600	+428
当期純利益率	9.0%	7.3%	▲1.7%			
自己資本当期純利益率(ROE)	21.0%	15.8%	▲5.2%			
総資産経常利益率(ROA)	17.1%	13.5%	▲3.6%			

7

- グループ連結の業績です。
- 2021年3月期は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社のお客さまである大手製造業各社においても、次代を見据えた技術開発投資は一部で弱含みとなり、当社の受注環境は厳しい状況となりました。
- これらの影響もあり、
売上高は、前期比4.3%減収の966億26百万円、
営業利益は20.8%減益の102億34百万円、
当期純利益は22.7%減益の70億28百万円となりました。
- 稼働率が予想を下回ったため、
売上高は予想対比で下回りましたが、
売上原価や販管費の費消が予想を下回ったため、
営業利益は予想対比で上回りました。

2021年3月期 グループ・セグメント

✓ エンジニアリングソリューション事業、エンジニア紹介事業共に前期比で減収減益

(百万円未満切捨て)	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
エンジニアリングソリューション事業 売上高	99,461	95,521	▲3,940	▲4.0%
構成比	98.5%	98.9%	+0.4%	
営業利益	12,492	9,960	▲2,531	▲20.3%
エンジニア紹介事業 売上高	1,639	1,216	▲422	▲25.8%
構成比	1.6%	1.3%	▲0.4%	
営業利益	434	273	▲160	▲36.9%

8

- グループ・セグメントの業績です。
- エンジニアリングソリューション事業は前期比で売上高は4.0%の減収、営業利益は20.3%の減益となりました。
- エンジニア紹介事業は、紹介決定数の減少等により、減収減益となりました。

2021年3月期業績 メイテック

- ✓ 前期比で売上高は5.1%減収、営業利益は17.2%減益、エンジニア社員数は1.8%増加
- ✓ 稼働率は前期比で6.0%低下⇒新入社員の配属が例年より遅延し、厳しい受注環境も加わったため

(百万円未満切捨て)	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2021年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	75,297	71,452	▲3,844	▲5.1%	71,600	▲148
売上原価	55,138	53,438	▲1,699	▲3.1%	53,500	▲62
原価率	73.2%	74.8%	+1.6%		74.7%	+0.1%
販売管理費	9,776	9,414	▲362	▲3.7%	10,000	▲586
営業利益	10,382	8,600	▲1,782	▲17.2%	8,100	+500
営業利益率	13.8%	12.0%	▲1.8%		11.3%	+0.7%
経常利益	11,290	9,547	▲1,742	▲15.4%	9,000	+547
特別損益	△ 2	△ 4	▲1			
税引前当期純利益	11,287	9,542	▲1,744	▲15.5%		
当期純利益	8,112	6,823	▲1,289	▲15.9%	6,300	+523
稼働率(全体)	96.4%	90.4%	▲6.0%		91.0%	▲0.6%
稼働時間(h/day)	8.54	8.31	▲0.23	▲2.7%	8.31	—
採用数(名)	627	562	▲65	▲10.4%	624	▲62
新卒採用数	418	399	▲19	▲4.5%	399	—
中途採用数	209	163	▲46	▲22.0%	社内目標 225	▲62
退職率	5.5%	5.6%	+0.1%		5.1%	+0.5%
エンジニア社員数(名)	7,150	7,281	+131	+1.8%		

9

- メイテック単体の業績です。
- 新型コロナウイルス感染症拡大による景況悪化に伴い、稼働人員数の減少、稼働時間の低下などにより、売上高は前期比5.1%減収の714億52百万円、営業利益は17.2%減益の86億円、当期純利益は15.9%減益の68億23百万円となりました。
- なお、エンジニア社員数は前期比で1.8%の増加となりました。
- 稼働率は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を最優先とした研修実施により、新入社員の配属が例年より遅延したこと、また、厳しい受注環境も加わり、前期比▲6.0%低下の90.4%となりました。
- 稼働時間は夜間外出自粛要請等によりお客さまの残業時間削減が非常に強まったこと等により、前期比で低下しました。

2021年3月期業績 メイテックフィルダース

- ✓ 売上高は前期比で0.4%減収、営業利益は39.4%減益、エンジニア社員数は18.7%増加
- ✓ 稼働率は前期比で10.3%低下⇒エンジニア社員数の増加、新入社員の配属遅延のため

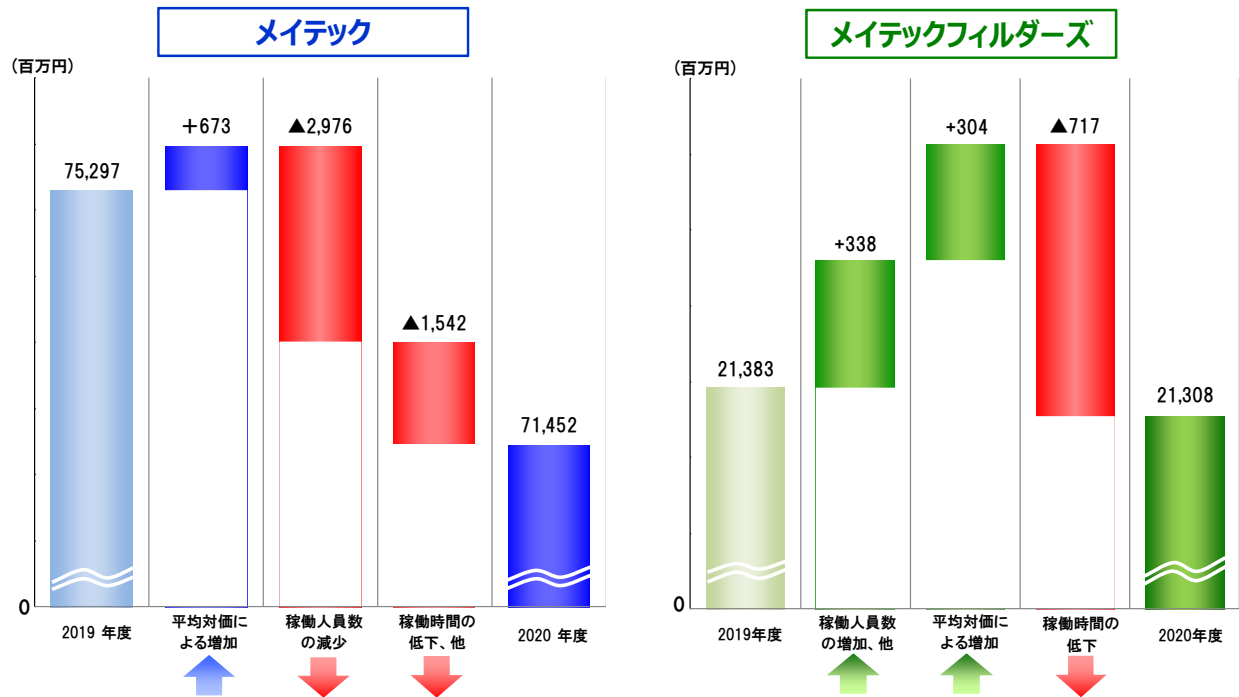
(百万円未満切捨て)	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2021年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	21,383	21,308	▲74	▲0.4%	21,800	▲492
売上原価	16,476	16,542	+66	+0.4%	16,870	▲328
原価率	77.1%	77.6%	+0.6%		77.4%	+0.2%
販売管理費	2,962	3,586	+624	+21.1%	3,600	▲14
営業利益	1,944	1,178	▲765	▲39.4%	1,330	▲152
営業利益率	9.1%	5.5%	▲3.6%		6.1%	▲0.6%
経常利益	1,945	1,177	▲768	▲39.5%	1,330	▲153
特別損益	0	—	—			
税引前当期純利益	1,945	1,177	▲767	▲39.5%		
当期純利益	1,461	805	▲655	▲44.9%	880	▲75
稼働率(全体)	95.3%	85.0%	▲10.3%		88.1%	▲3.1%
稼働時間<h/day>	8.59	8.29	▲0.30	▲3.5%	8.27	+0.02
採用数<名>	506	839	+333	+65.8%	892	▲53
新卒採用数	198	217	+19	+9.6%	217	—
中途採用数	308	622	+314	+101.9%	社内目標 675	▲53
退職率	9.0%	9.3%	+0.3%		7.9%	+1.4%
エンジニア社員数<名>	2,860	3,394	+534	+18.7%		

10

- ・ メイテックフィルダースの業績です
- ・ メイテック同様、稼働時間の低下などで、売上高は前期比0.4%減収の213億8百万円、営業利益は39.4%減益の11億78百万円、当期純利益は44.9%減益の8億5百万円となりました。
- ・ 積極採用により、エンジニア社員数は前期比で18.7%の大きな増加となりました。
- ・ 稼働率は、エンジニア社員数の増加に加え、メイテック同様、新入社員の配属遅延により、前期比で10.3%低下の85.0%となりました。
- ・ なお、稼働時間はメイテックと同様の理由で、前期比で低下しました。

売上高前年同期比較

- ✓ メイテックは「稼働人員数の減少」「稼働時間の低下」により減収
- ✓ メイテックフィルダーズは「稼働時間の低下」により減収

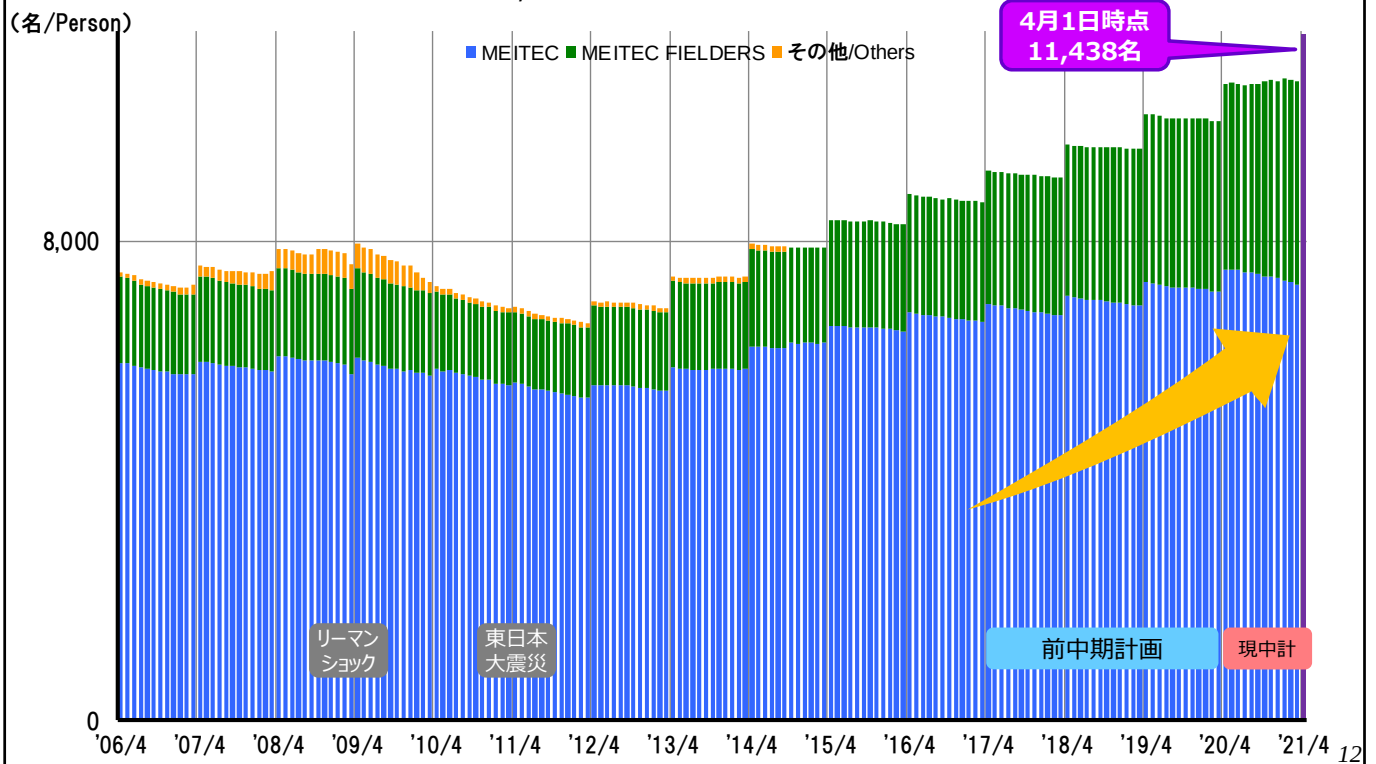


11

- メイテックとメイテックフィルダーズの売上高で、前年同期対比の増減の内訳です。
- 減収の主な要因は、メイテックは「稼働人員数の減少」、「稼働時間の低下」、メイテックフィルダーズは「稼働時間の低下」です。
- 影響額は記載の通りとなっています。

エンジニア社員数 グループ連結

- ✓ 3月末のエンジニア社員数は10,675 名（前年3月末比+665名、+6.6%）
- ✓ 4月1日時点では、過去最高の11,438名で新年度スタート

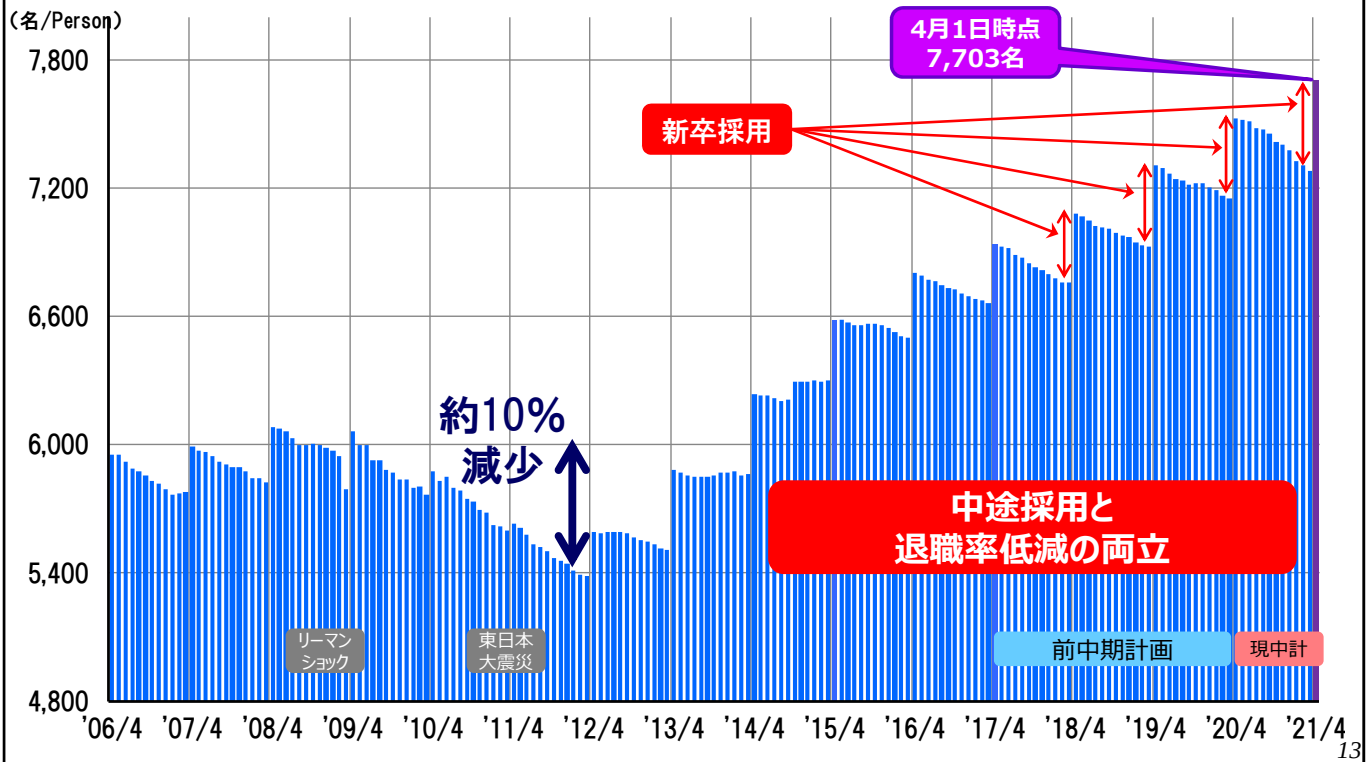


- グループのエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、
前年3月末比+665名、+6.6%増の10,675名、
4月1日には、新卒社員を迎え、過去最高の11,438名で新年度をスタートしました。
- メイテック、メイテックフィルダーズ共に順調に増員ができております。

エンジニア社員数 メイテック

✓ 3月末エンジニア社員数は7,281名（前年3月末比+131名、+1.8%）

✓ 4月新卒入社数は462名、過去最高の7,703名で新年度をスタート

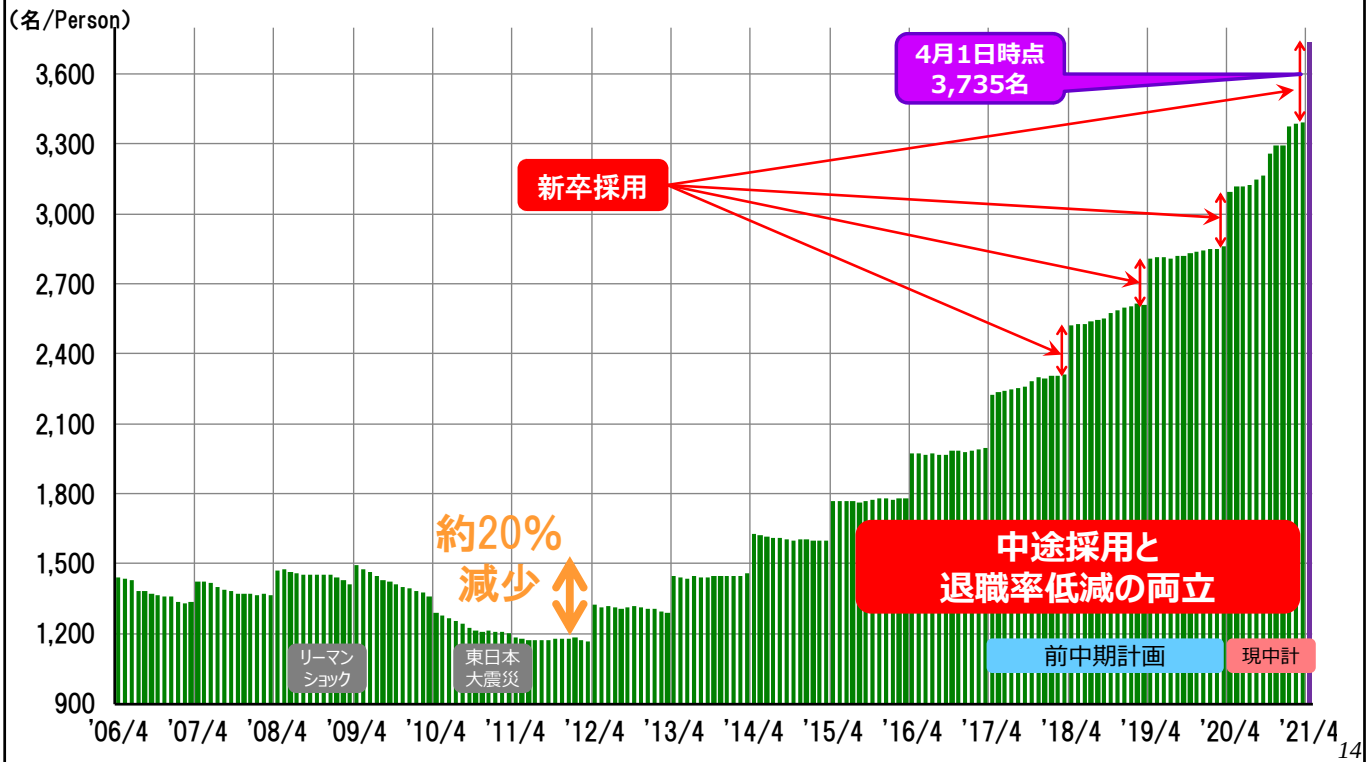


- 続いて、メイテック単体のエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、前年3月末比+131名、+1.8%増の7,281名、4月1日に新卒社員462名を迎え、過去最高の7,703名で新年度をスタートしました。

エンジニア社員数 メイテックフィルダース

✓ 3月末エンジニア社員数は3,394名（前年3月末比+534名、+18.7%）

✓ 4月新卒入社数は302名、過去最高の3,735名で新年度をスタート



- メイテックフィルダースのエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、
前年3月末比+534名、+18.7%増の3,394名となりました。
また、4月1日に新卒社員302名を迎え、
過去最高の3,735名で新年度をスタートしました。

2021年3月期の採用実績

中途採用（2021年3月期）

- ・ 足元は大手企業等でコロナ禍前の採用環境に復調、特に即戦力人材の競争は過熱、厳しい環境が継続
- ✓ 応募者の安全・安心配慮を最優先しつつ、採用基準を保持した厳選採用を継続
- ✓ 採用チャネルを拡大、生涯プロエンジニアの働き方やキャリアアップの考え方を訴求し、メイテックフィルダーズの採用人数は前期比で大幅増を達成
- ✓ ただし、採用環境の復調で競争が過熱し、社内目標対比では苦戦した

新卒採用（2021年4月入社）

- ・ 理系学生の採用ニーズは依然衰えず、感染症対策で採用環境の厳しさが増す中、学生志向を念頭に置き、採用基準保持を前提とした活動を実施
- ✓ 感染症拡大による学生の不安払拭を第一に考えた採用活動を展開
- ✓ 早い段階で、オンラインの採用活動に切り替えて、引き続き丁寧な面接やフォロー活動に努めた
→ これが、採用人数の前期比で大幅増を達成した主因と考えている

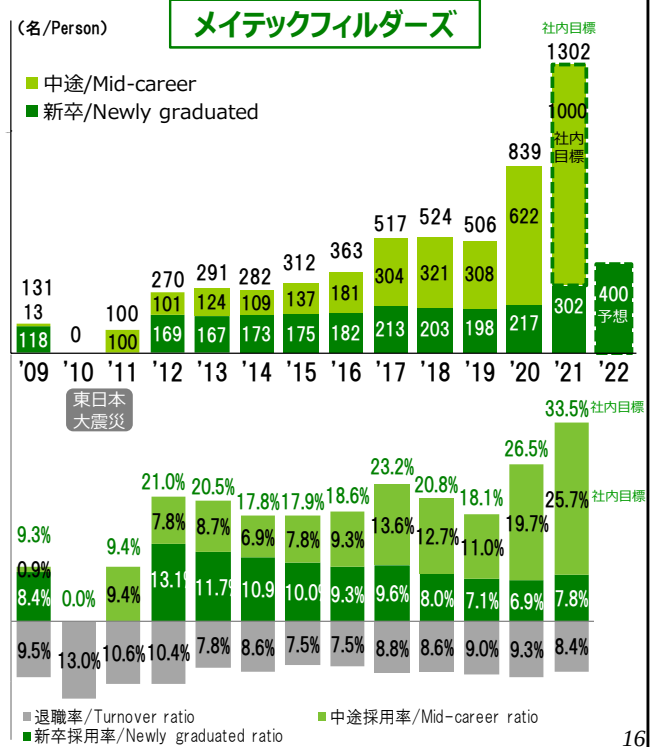
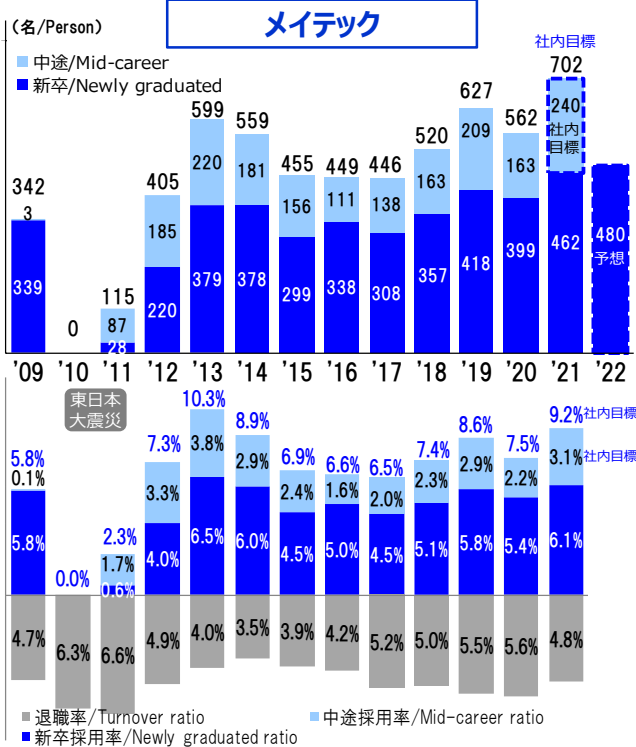
(名)	2021年3月期(2020年度)								2022年3月期(2021年度)					
	20年4月入社 新卒採用数	中途採用数						採用数 合計	前期比	21年4月入社新卒採用数				
		期初社内目標	10/29公表 社内目標		期初目標比	10/29公表比	期初予想			10/29公表 内定者数		期初予想比	前期比	
メイテック	399	220	225	163	▲57	▲62	562	▲65	450	484	462	+12	+63	
メイテック フィルダーズ	217	675	675	622	▲53	▲53	839	+333	300	305	302	+2	+85	
合計	616	895	900	785	▲110	▲115	1,401	+268	750	789	764	+14	+148	
20年3月期比	—			+268			+268			10/29公表比	▲25			

15

- ・ 次に、採用の状況です。
- ・ まず、中途の採用市場は、感染症拡大の影響で企業が中途採用の活動を一時的に見合わせ、停滞しましたが、コロナ収束後の拡大成長に向けて、直ちに採用活動を再開した企業がほとんどで、特にDXの知識を持ったエンジニアの需要が非常に高い状況です。
- ・ このような状況の中、感染症対策を徹底して応募者の安全・安心配慮を最優先しつつ、チャネル拡大の他、さまざまな工夫をこらした結果、メイテックフィルダーズは、採用人数を前期比で大きく伸ばしました。
ただし、厳しい環境のもとで、社内目標比では若干苦戦しました。
- ・ 次に、新卒採用です。
- ・ 企業の理系学生の採用ニーズは依然として衰えておりません。厳しい環境の中でも、採用基準保持を前提としながら、コロナ禍で学生の皆様に安心、安全を感じてもらえるように、柔軟かつ、機動的に、さまざまな工夫をこらした結果、グループ全体で、前期比+148名の採用人数増加を達成しました。

採用と退職

✓ 採用環境は厳しいが採用基準は保持

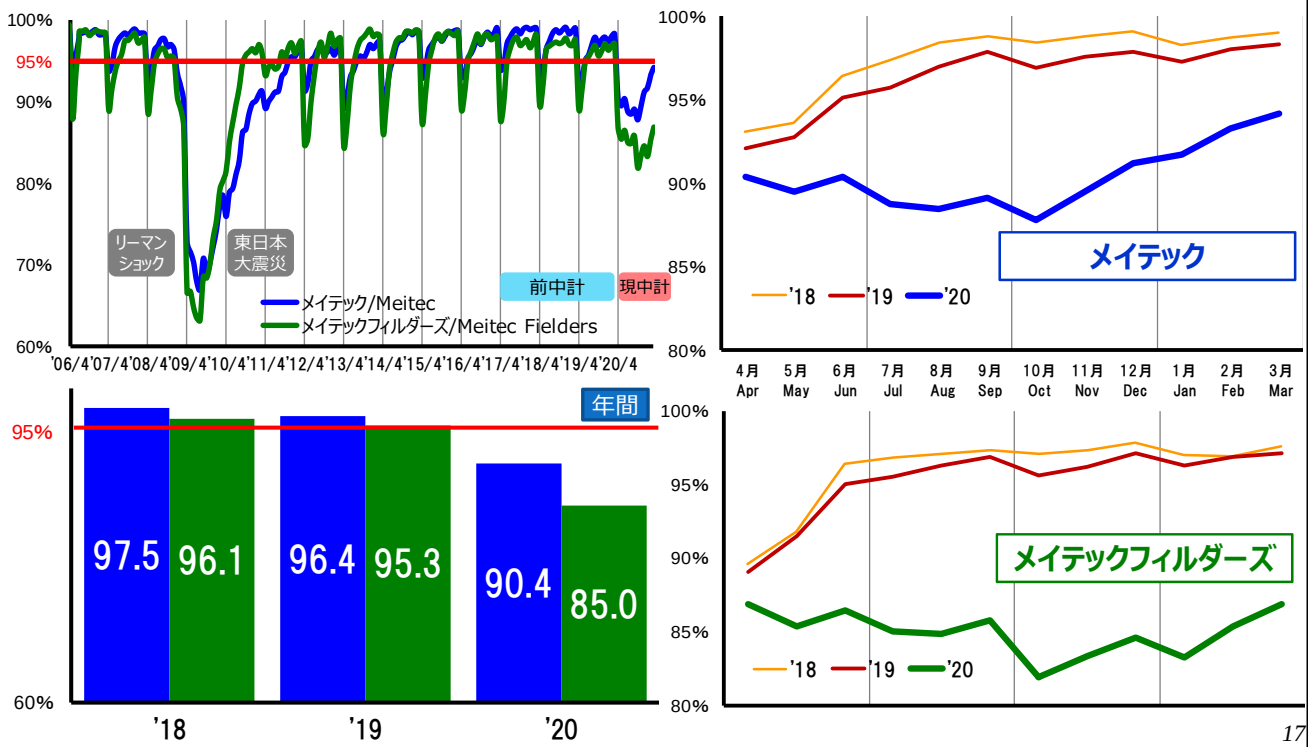


16

- 採用者数と採用率・退職率の推移です。
- メイテックの2020年度の採用率は7.5%で、伸び率は昨年より若干減少しました。
一方、退職率は5.6%と引き続き低い水準を維持し、増員に寄与しました。
- メイテックフィルダーズの2020年度の採用率は26.5%で、伸び率は昨年より大きく増加しました。退職率は9.3%となりました。
- 2021年度の予想は、メイテックフィルダーズの中途採用で大幅な増加を見込んでいます。詳細については、のちほど説明します。

稼働率

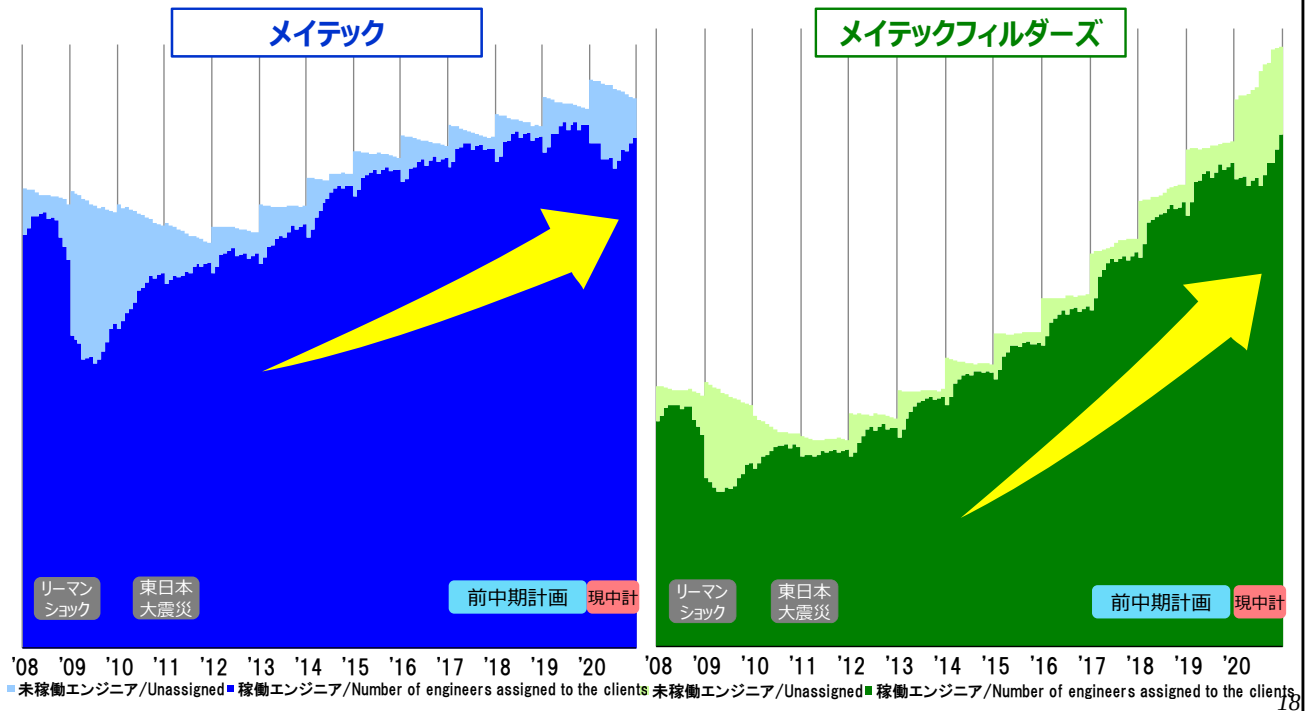
✓ 稼働率低下⇒新入社員の配属が例年より大きく遅延し、さらに厳しい受注環境も加わったため



- 稼働率の推移です。
- メイテック、メイテックフィールドズ共に、感染対策を講じた研修実施で、新入社員の配属が例年より大きく遅延し、さらに厳しい受注環境も加わったため、稼働率は低下しました。

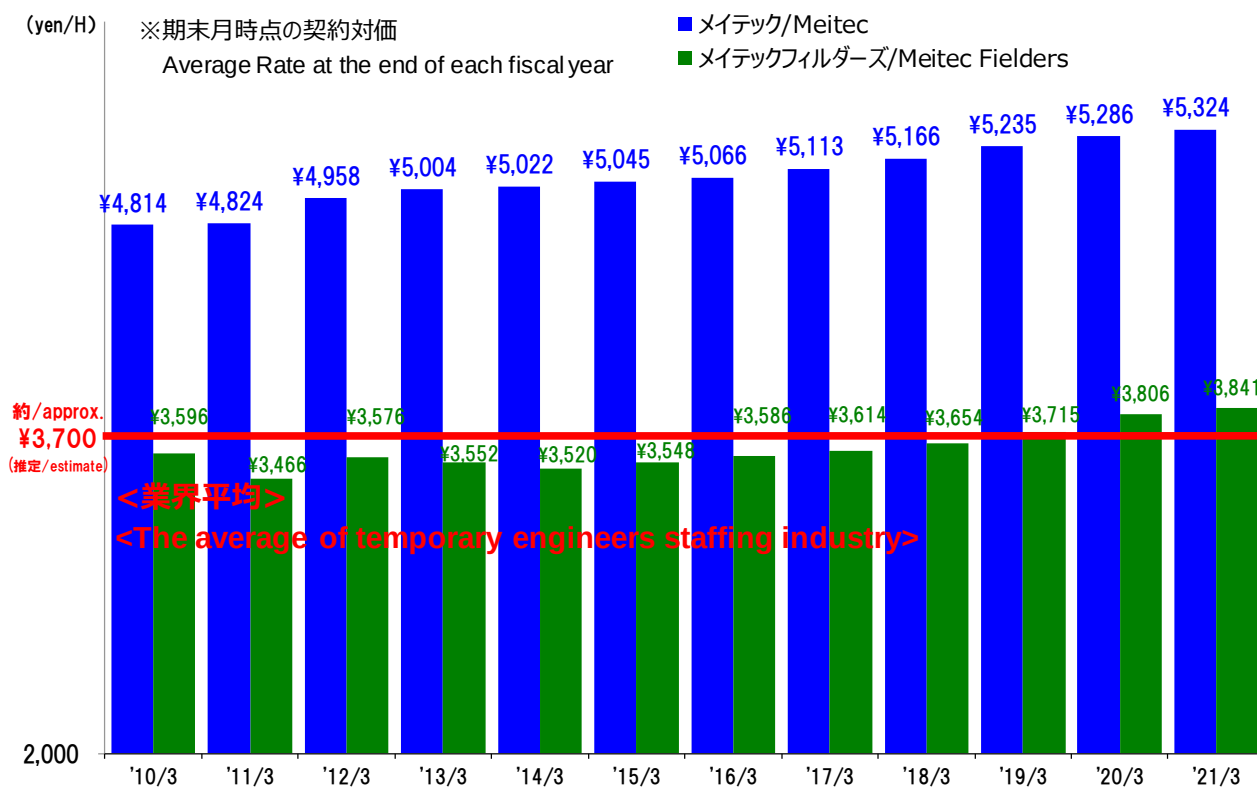
稼働人員数(売上の主要素)

- ✓ 感染拡大前からの積極採用で「エンジニア社員数の増員」
- ✓ メイテックの稼働人員数は、稼働率低下により減少



- 稼働人員数の推移です。
- 感染拡大前からの積極採用により、「エンジニア社員の増員」となりましたが、稼働率低下により、メイテックは稼働人員数が減少しました。

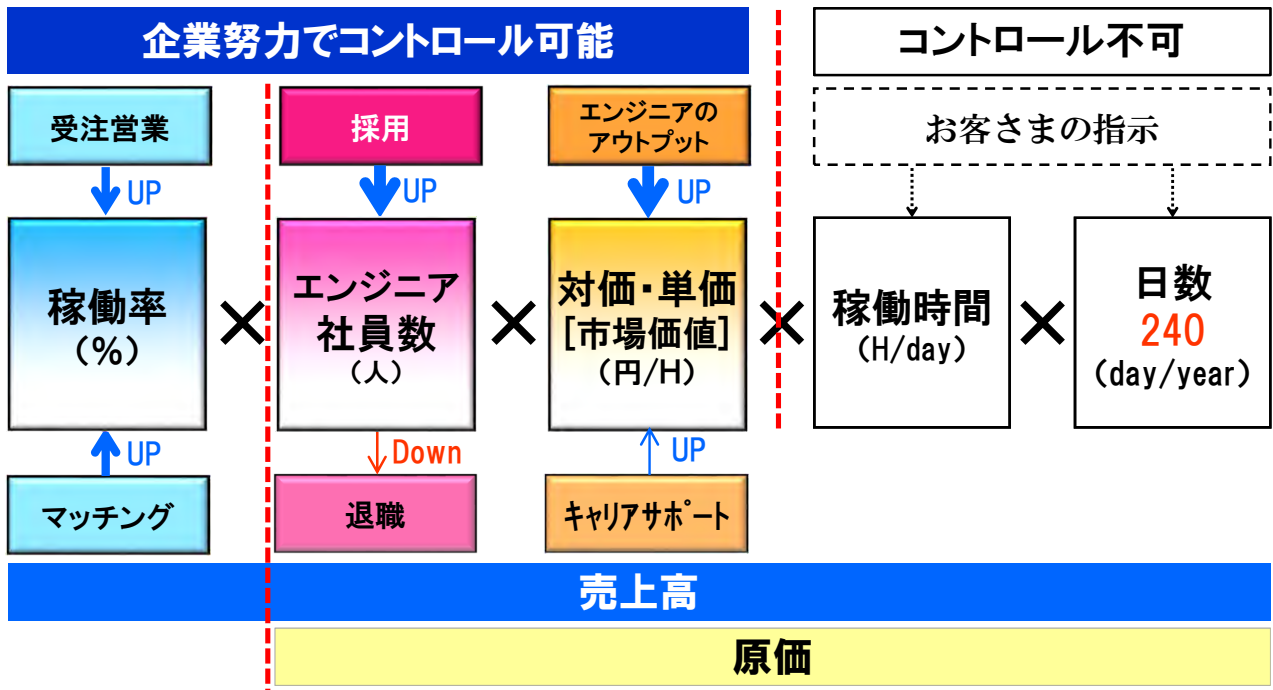
対価・単価・(レート)=[市場価値]



- 対価の推移です。
- 高い品質を維持することにこだわり、メイテックの対価は前年同様、業界平均を大きく超える5,300円強の水準となりました。
これを維持するためには、採用基準の保持、並びに市場が求める技術に適合できるキャリア形成が必要不可欠です。
- メイテックフィルダーズの対価は、3,800円以上で、業界平均を上回りました。
- これからも需要と供給の関係に拠る対価獲得ではなく、エンジニア一人ひとりの高いアウトプットに基づいた対価を獲得できる状態、「適正対価の獲得」に努めていきます。

売上高・原価の概要

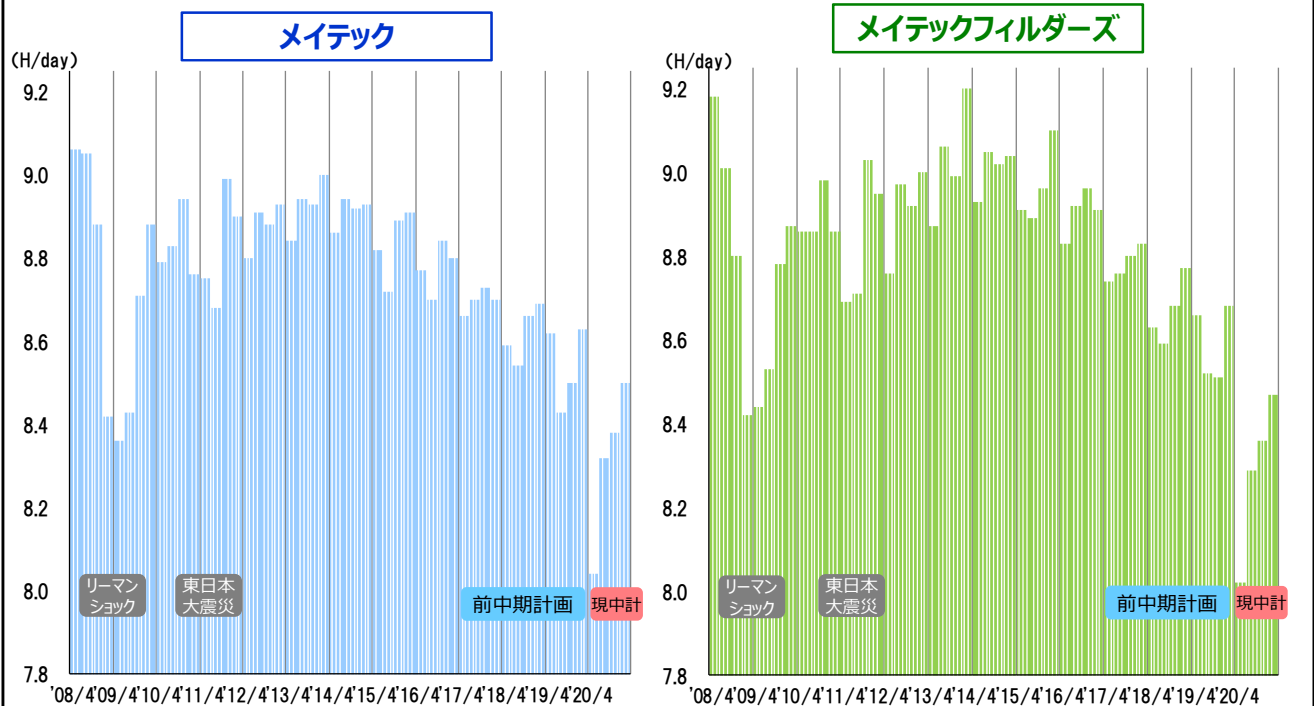
✓ 「稼働率と対価」を維持・向上しながら、エンジニア社員数の増員が成長の鍵



20

- エンジニアリングソリューション事業の売上高・原価の構成要素は御覧の通りです。

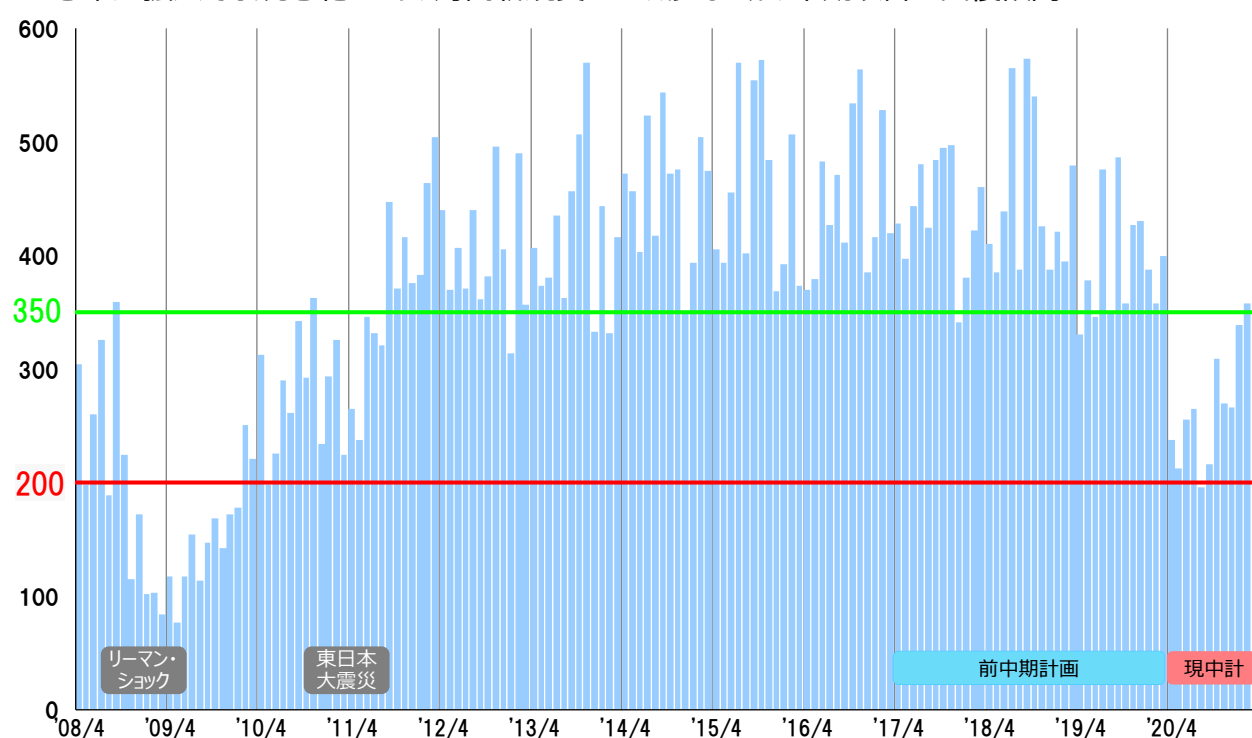
✓ 稼働時間低下⇒夜間外出自粛要請等により顧客の残業時間削減が強まったため



21

- 次に稼働時間の推移です。
- 2020年4月に緊急事態宣言が発令され、夜間外出自粛要請やテレワーク等により、お客さまの残業時間削減が強まり、時間外労働は例年と比べて低下しました。
- 稼働時間は、お客さま先の業務指示でございますので、ノンコントロールではありますが、稼働時間0.1時間の変動で売上高は約1%変動することから、業績影響の大きい指標の一つとして、今後も継続して注視していきます。

✓ 感染症拡大で景況悪化により、月間新規受注は減少したが、下期以降は回復傾向



22

- 月間新規受注動向の推移です。
- 感染症拡大による景況悪化に伴い、お客さまの訪問制限、プロジェクトの計画見直し等で、
上期の月間新規受注数は約200件にまで落ち込みましたが、
下期以降、お客さまはコロナ収束後の拡大成長を見据えて
動き出しており、同時に、当社の積極的な営業活動によりま
して、約350件の水準にまで回復しました。
- 依然として、新型コロナウイルス感染症の収束見込みが
立っておらず、先行きは不透明な状況ですが、
攻めの営業を行いながら、新規受注獲得、配属促進を実施
してまいります。

お客さまの売上TOP10 メイテック

✓ お客さま（個別企業）に関する事項および具体的計数の公表は差し控えます

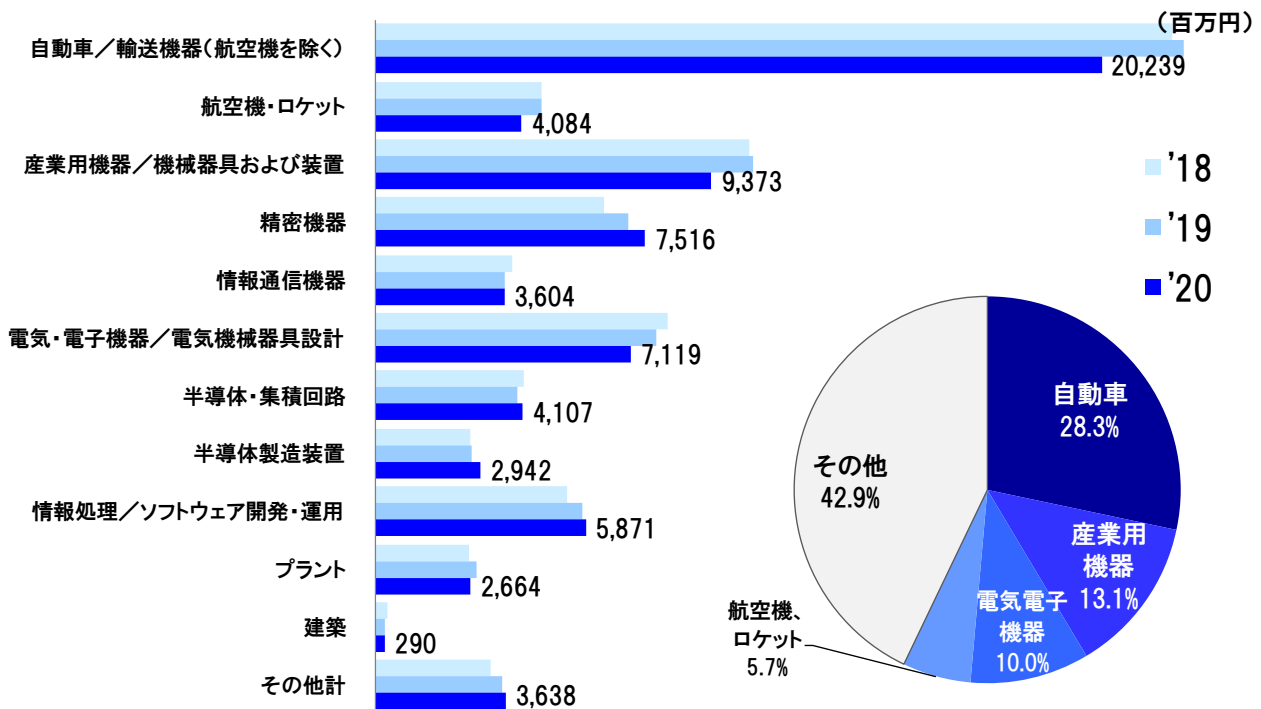
（百万円）

2016年3月期（2015年度）			2020年3月期（2019年度）			2021年3月期（2020年度）		
1	三菱重工業 様		1	三菱重工業 様		1	三菱重工業 様	
2	キャノン 様		2	デンソー 様		2	デンソー 様	
3	デンソー 様		3	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様		3	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様	
4	パナソニック 様		4	パナソニック 様		4	トヨタ自動車 様	
5	トヨタ自動車 様		5	トヨタ自動車 様		5	パナソニック 様	
6	ニコン 様		6	ニコン 様		6	ニコン 様	
7	ソニー 様		7	デンソーテン 様		7	デンソーテン 様	
8	川崎重工業 様		8	キャノン 様		8	日立ハイテク 様	
9	三菱航空機 様		9	日本製鉄 様		9	SUBARU 様	
10	オムロン 様		10	SUBARU 様		10	日本製鉄 様	
トップ10社合計	18,040	26.2%	トップ10社合計	17,720	23.5%	トップ10社合計	17,589	24.6%
トップ20社合計	24,867	36.1%	トップ20社合計	26,048	34.6%	トップ20社合計	25,145	35.2%
その他	44,011	63.9%	その他	49,249	65.4%	その他	46,308	64.8%
合計	68,878	100.0%	合計	75,297	100.0%	合計	71,452	100.0%

23

- メイテックのお客さまの売上TOP10です。
- TOP10圏内に入るお客さまに一部変化が見られます。
- 技術革新によって、生産や製造現場をはじめ、サービス業など幅広い分野で、自動化やロボティクスが進んでいます。
- こういった分野における新たな製品、サービスの開発において、お客さまの動向を絶えずウオッチしながら、意図してシフトし、お客さまの中での新しいプロジェクトや技術開発テーマに即した成長セクター、分野、新しい技術領域へ意図的に、当社エンジニアのローテーションを図りながらも、キャリアを形成し、技術力を高めつつ、お客さまに対する付加価値を高めていく取り組みを続けていきます。
- 特定のお客さまに偏（かたよ）らず、幅広い業務領域のサービスを展開することは、まさしくメイテックの強みですので、これからもその強みを高めてまいります。

✓ お客さま（個別企業）別の内訳や見通しの公表は差し控えます（計数はご参考資料に掲載）



24

- 業種別の売上高です。
- 前年度に引き続き、「自動車関連」が高い比率を占めています。
- メイテックは、広い分野や業種のお客さまと取引させて頂くことにより、意図的にエンジニアを他の業界や分野にシフトすることを可能としており、デジタル化、技術革新といった、加速する技術分野におけるお客さまのニーズにも対応し続けられるよう、努めてまいります。

2. 中期経営計画の進捗

中期経営計画の記述に関する注意事項

1. 中期経営計画を開示する本資料中の定量目標は、業績予想とは異なります。新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化懸念が業績に与える影響は、反映していません。
2. 本資料中の定量目標などは、あくまで、経営チームの強い意志に基づく中長期的な戦略を示すものに過ぎません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
3. 正式な業績予想は証券取引所規則に基づく決算短信の開示をご参照下さい。

25

- 続いて、中期経営計画の進捗についてご説明します。
- 2020年4月からスタートした中期計画「The Transformation」は、事業モデルを変革し、今まで培った高い品質を維持しながらグループ全体で高付加価値を追求し、世の中にとって唯一無二の企業グループへの変革を目指して取り組んでいます。

グループ一体で高付加価値を追求して事業モデルを改革

基本方針

売上拡大

利益率向上

収益増強

重点施策

✓ 最上級Primeのエンジニアリングソリューションを提供

経営トップ直轄で最上級Primeの
 ・エンジニア集団を創る
 ・技術営業チームを築く

✓ 設計開発のデジタル化を大きく増やす

・量的拡大とデジタル化・成長領域への移動を加速

・制度や基準を迅速果断に革新

✓ 地域(エリア・ブロック)へ権限を委譲

✓ オペレーションの標準化を進め、効率を向上

・業務要件を再定義

・デジタル化の促進

27

- ・ 中期計画の基本方針、重点施策を再掲しています。
- ・ グループ一体で高付加価値を追求するため、3つの基本方針をベースに、4つの重点施策に取り組んでおります。

グループ一体で高付加価値を追求して事業モデルを改革

重点施策	1期目の進捗状況
最上級Primeのエンジニアリングソリューションを提供	• Primeに相応しいソリューション提案の営業手法の確立を推進 • 経営トップが、直接、エンジニア社員と面談し、Prime集団を共に創る賛同を得ている最中
設計開発のデジタル化を大きく増やす	• 能動的な提案数は増え、営業攻勢は好転 • エンジニア社員が保有すべき技術・スキルの技術研修を拡充 • 中長期の成長、発展に向け、積極採用の推進を継続
地域(エリア・ブロック)へ権限を委譲	• 過去に無い「人の動きの制限」を受けて、業務などの移転を保留(ただし、現時点において、掲げた考えを修正する予定は無い)
オペレーションの標準化を進め、効率を向上	• 実態を正しく把握する計画は、「人の動きの制限」を受けて遅延

28

- 各重点施策における進捗状況は記載の通りです。
- 1期目は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、一部施策の実施時期や方法の見直しが必要となりましたが、Primeによるエンジニアリングソリューションの確立、質を担保しつつ、エンジニア社員の増員を図り、地域ごとの採用を加速させて、意思決定のスピードを高めていけるよう、2期目以降も、目標達成に向けて取り組んでまいります。

業績予想・中期計画の進捗

The Transformation

参照Page25:中期経営計画の記述に関する注意事項

		2020年度		2022年度
		業績予想	実績	目標
グループ 連結	売上高	975億円	966億円	1,350億円
	営業利益	99億円	102億円	180億円
	営業利益率	10.2%	10.6%	13%
	当期純利益	66億円	70億円	120億円
	ROE	—	15.8%	25%以上
メイテック	売上高	716億円	715億円	900億円
	営業利益	81億円	86億円	135億円
	営業利益率	11.3%	12.0%	15%
メイテック フィルダース	売上高	218億円	213億円	400億円
	営業利益	13億円	12億円	36億円
	営業利益率	6.1%	5.5%	9%

29

- 1期目の実績はご覧の通りです。
- 引き続き、グループ連結では、2022年度の目標として、過去最高水準の売上高1,350億円、営業利益は180億円、営業利益率は13%、当期純利益は120億円、ROEは25%以上を目指します。

3. 2022年3月期 業績予想

- 2022年3月期の業績予想について説明します。

2022年3月期業績予想 グループ連結

- ✓ 先行き不透明の為、通期の業績予想は公表を見送り、おおむね合理的に見積れる第2四半期累計までの業績予想を公表
- ✓ 中期計画の達成と持続的な成長に向けて、積極採用は継続方針
- ✓ 売上高は前期比+10.0%の予想→前期、新入社員の配属遅延で低下した稼働率の増加を見込む

(百万円未満切捨て)		'22年3月期 公表予想	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高		非公表	51,800	+4,708	+10.0%
売上原価			38,600	+3,292	+9.3%
販売管理費			8,000	+1,094	+15.9%
営業利益			5,200	+321	+6.6%
営業利益率			10.0%	▲0.4%	
経常利益			5,200	+292	+6.0%
親会社株主に帰属する当期純利益			3,500	+361	+11.5%
1株当たり当期純利益(EPS)		非公表	128.63	+14.90	

31

- グループ連結の業績予想です。
- なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期が依然として不透明であるため、前期同様、通期の業績予想公表は見送り、合理的に見積もれる第2四半期累計までの予想としております。
- 直近の稼働状況や第2四半期までの見通しと、前期に新入社員の配属遅延で低下した稼働率の改善等を見込み、売上高は前期比10%増収の518億円、営業利益は前期比6.6%増益の52億円、四半期純利益は前期比11.5%増益の35億円としました。

2022年3月期業績予想 メイテック

- ✓ 売上高は前期比+7.3%の予想→前期、新入社員の配属遅延で低下した稼働率の改善を見込む
- ✓ 販売管理費は同比+11.2%の予想→採用関連費用やシステム関連費用等の増加を見込む

(百万円未満切捨て)	'22年3月期 公表予想	前期比 増減額	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	非公表		37,400	+2,553	+7.3%
売上原価			27,900	+1,686	+6.4%
原価率			74.6%	▲0.6%	
販売管理費			5,200	+523	+11.2%
営業利益			4,300	+343	+8.7%
営業利益率			11.5%	+0.1%	
経常利益			4,800	▲99	▲2.0%
当期純利益			3,400	▲29	▲0.9%
稼働率(全体)	非公表		92.2%	+2.7%	
稼働時間(h/day)			8.44	+0.27	
採用者数	702	+140	2022年4月入社の 新卒採用目標数		21年4月 実績比
新卒採用数	462	+63			
中途採用数	社内目標 240	+77			
退職率	4.8%	▲0.8%	480		+18

32

- ・ メイテック単体の業績予想です。
- ・ 売上高は前期比7.3%増収の374億円、
営業利益は前期比8.7%増益の43億円としました。
- ・ 販管費の増加理由は、採用関連費用やシステム関連費用
の増加を見込んでいるためです。
- ・ これらを背景として、当期純利益は前期比▲0.9%減益の
34億円としました。
- ・ なお、稼働率は、引き続き感染拡大防止に配慮した研修を
実施するため、新入社員の配属が例年より遅れること等を見
込みつつも、
直近の稼働状況を踏まえ、前期比2.7%の増加を見込んで
います。

2022年3月期業績予想 メイテックフィルダース

- ✓ 売上高は前期比+17.8%の予想→積極採用による稼働人員数の大幅な増加を見込む
- ✓ 販売管理費は同比+24.9%の予想→積極採用による採用関連費用の増加を見込む

(百万円未満切捨て)		'22年3月期 公表予想	前期比 増減額	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高		非公表		12,100	+1,827	+17.8%
売上原価				9,500	+1,492	+18.6%
	原価率			78.5%	+0.6%	
販売管理費				2,000	+398	+24.9%
営業利益				600	▲64	▲9.7%
	営業利益率			5.0%	▲1.5%	
経常利益				600	▲63	▲9.5%
当期純利益				400	▲54	▲12.0%
稼働率(全体)		非公表		84.2%	▲1.6%	
稼働時間<h/day>				8.41	+0.25	
採用者数		1,302	+463	2022年4月入社の 新卒採用目標数		21年4月 実績比
	新卒採用数	302	+85			
	中途採用数	社内目標 1,000	+378			
退職率		8.4%	▲0.9%	400		+98

33

- メイテックフィルダースの業績予想です。
- 売上高は前期比+17.8%増収の121億円、営業利益は、前期とほぼ同額の6億円としました。
- 販管費は、採用数増加を目指しているため、前期比+24.9%の増加を見込んでいます。

2022年3月期の採用目標

中途採用（2022年3月期）

- ・ コロナ収束見込みは不透明ではあるが、DX人材を中心とした即戦力技術者求人ニーズは過熱
- ✓ 採用基準を保持しつつ、中長期の成長、発展を見据えた積極採用を推進
- ✓ 様々な媒体を活用し、「生涯プロエンジニア」の働き方の理解、キャリアアップに対する考え方を積極的に発信し、採用数確保を目指す

新卒採用（2022年4月入社）

- ・ コロナ禍で学生の就活手法や企業選択の多様化が進む中、企業の理工系採用ニーズは更に高まり、採用競争は激化
- ✓ インターンシップ等を通じ、生涯プロエンジニアとしての働き方の理解と共感を学生に促す
- ✓ 応募者の安全確保を第一にしつつ、応募者志向性（成長意欲など）を大切に採用活動を継続
- ※ 設計・開発部門で最先端技術や最新の製品開発に携わるソリューション提供を継続して実現していくため、採用基準は下げない

(名)	2022年3月期					2023年3月期	
	21年4月入社 新卒採用数 (実績)	中途採用数		採用数合計		22年4月入社 新卒採用数	前期比
		〈社内目標〉	前期比	〈社内目標〉	前期比		
メイテック	462	240	+77	702	+140	480	+18
メイテック フィルダーズ	302	1,000	+378	1,302	+463	400	+98
合計	764	1,240	+455	2,004	+603	880	+116

34

- ・ 続いて、採用目標です。
- ・ 当年度の中途採用は、社内目標数ですが、メイテックは240名、メイテックフィルダーズは1,000名と、大幅増加を目論んでいます。
- ・ 採用競合のメーカー各社が採用を再開し、厳しい環境が継続する予想ですが、中期計画で掲げた通り、メイテックフィルダーズはミドル領域No.1を目指し、格段に高い採用目標数としています。
- ・ 新卒採用も、今年4月の入社者数を上回る目標としています。
- ・ 新聞記事によると、大卒採用目標数ランキングでは、日本企業全体では13番、理工系学生だけでは2番目の規模であり、かなり大きな水準と認識しています。
- ・ 高い目標ではありますが、多くの方々をメイテックグループの一員として、お迎えできるようにそして、理工系の学生の方々を中心として、エンジニアとして今後生涯にわたって活躍できる環境と、お客様の技術開発に貢献できるような事業活動を促進するためにも、採用を強化していきたいと思えます。

利益配分に関する基本方針

✓ 新中期計画の利益配分は、資本と資金の質と量の充実度を踏まえ、既定方針に従う

2018年11月改定
2017年5月改定
2011年5月改定
利益配分方針

1. 自己資本の“質と量”が充実していること
2. 資金残高が事業運営上の必要資金*を上回っていること
(*連結売上高の月商3ヶ月分)

総還元性向：100%以内を原則

配当

業績連動型配当：連結当期純利益の50%以上

最低限の配当：連結株主資本配当率(DOE)5%

**自己株式の
取得・
保有・消却**

取得：総還元性向と配当性向の水準を勘案して適宜実施

保有：発行済総数の5%を上限

消却：上限超を当期末までに消却

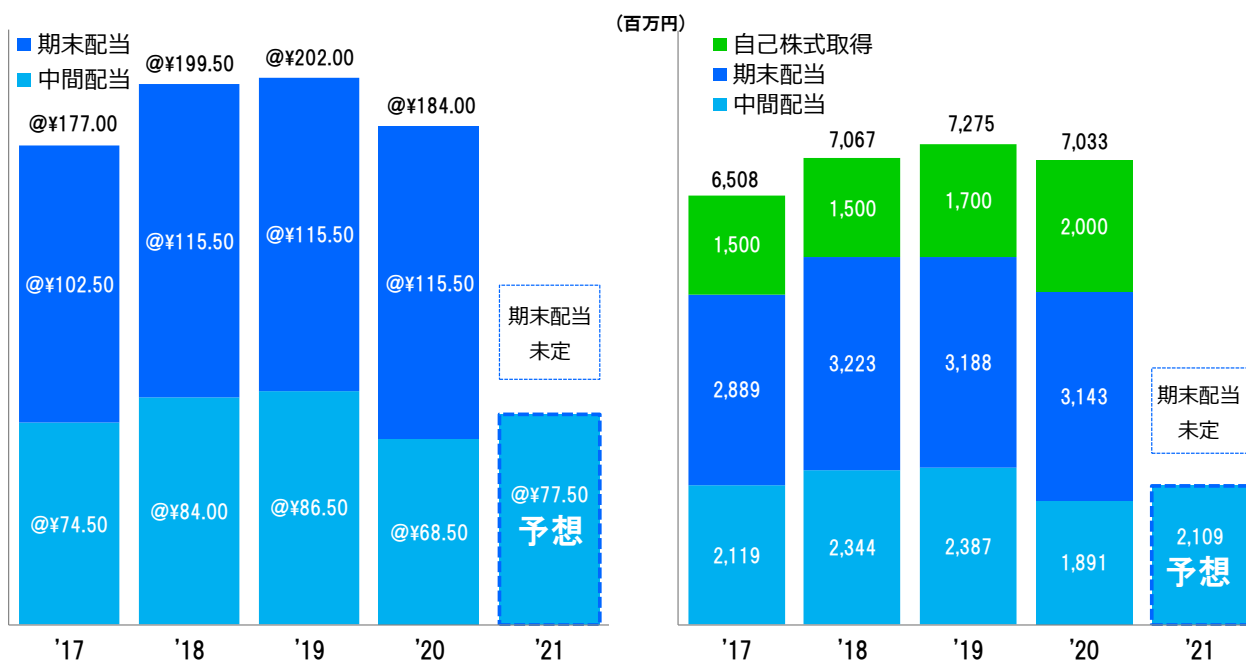
✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

35

- 続いて利益配分についてです。
- 現時点で、自己資本の“質と量”は概ね充実しているため、基本方針に則して総還元性向は、100%以内と考えています。

利益配分の実績と予想

- ✓ 2020年度の期末配当は115円50銭、中間配当68円50銭と合わせて年間配当金は184円
- ✓ 2021年度は、業績予想に基づき、配当性向60%で中間配当予想のみ公表
- ✓ なお、自己株式取得は実行予定ながら時期は未定



36

- 最後に、利益配分の実績と予想です。
- 2021年3月期の期末配当は、当期純利益が業績予想を上回ったため、昨年10月に公表した配当予想の一株当たり98円50銭から17円引き上げて、115円50銭で、株主総会へ上程します。
中間配当金68円50銭と合わせて年間配当金は184円となり、18円の減配となります。
- 今年度の利益配分は、基本方針に即し、総還元性向100%以内を原則とします。
先ほどご説明した通り、通期の業績予想は見送りましたので、中間配当までの予想とし、期末配当および自己株式取得額の公表予想は見送らせて頂きます。
- 中間配当は第2四半期累計の業績予想に基づき、77円50銭の予想としております。
- 私からの説明は以上です。
当社の事業を通じて技術の力で、お客さまに新たな製品開発、商品開発、高い付加価値を提供できるように事業に取り組んでまいりたいと思います。ひいては、今、持続的・社会への社会課題の解決に向けて取り組む目標がありますが、技術力を持った新たなサービスや製品開発によって、豊かに、そして持続的・社会に貢献するということを目指して経営を行ってまいります。
今後ともご理解、ご支援の程、宜しくお願い致します。ご清聴、ありがとうございました。

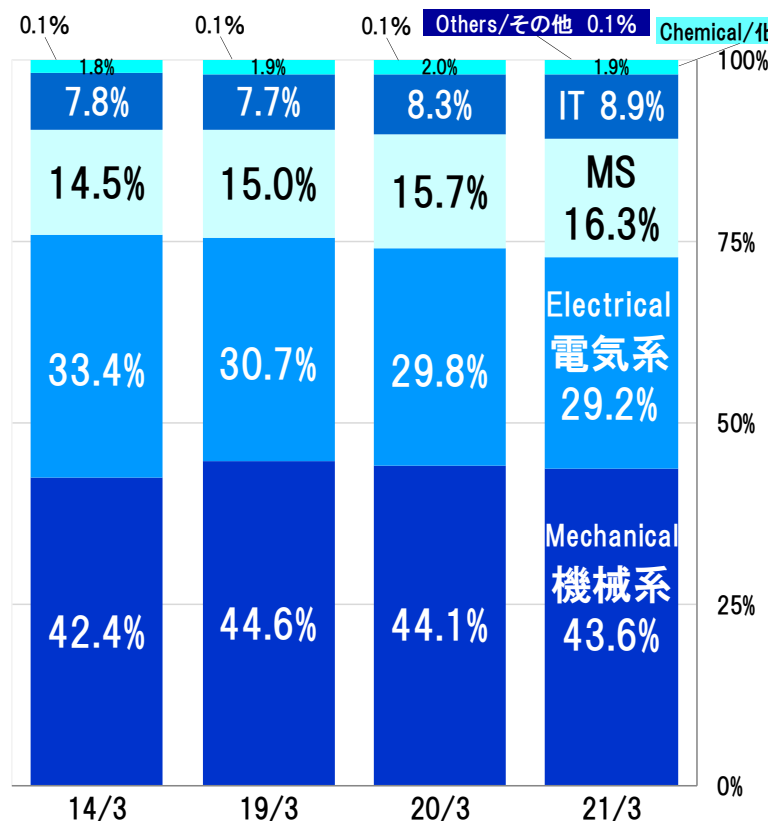
4. ご参考資料

2021年3月期業績 各社別

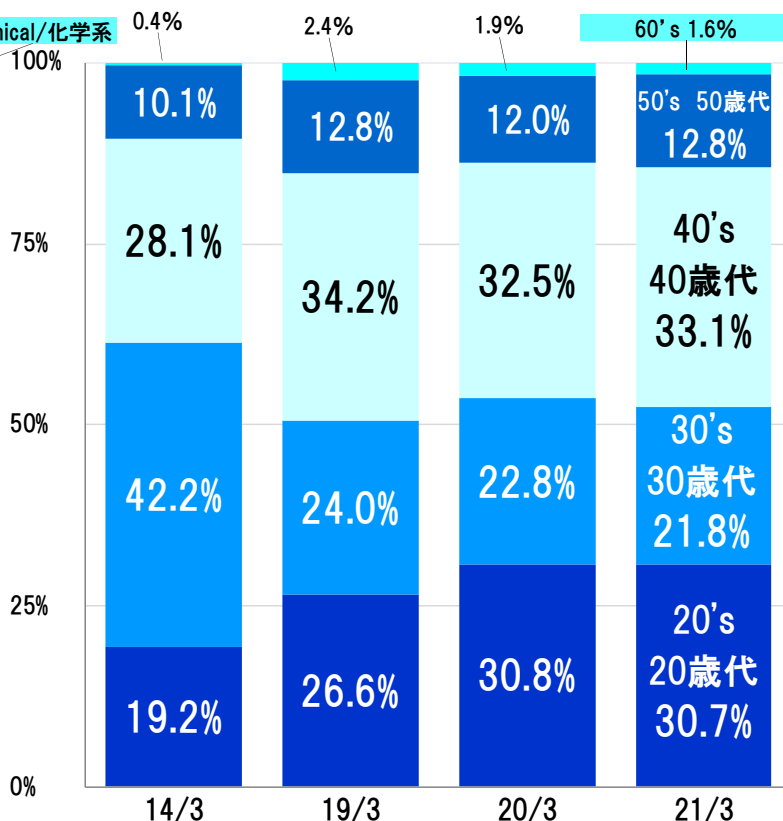
		エンジニアリングソリューション事業				エンジニア紹介事業
		メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
(百万円未満切捨て)						
売上高		71,452	21,308	2,899	182	1,216
	前期比 増減額	▲3,844	▲74	+9	+55	▲422
	前期比 増減率	▲5.1%	▲0.4%	+0.3%	+43.5%	▲25.8%
営業利益		8,600	1,178	222	0	273
	前期比 増減額	▲1,782	▲765	+36	+2	▲160
	前期比 増減率	▲17.2%	▲39.4%	+19.6%	—	▲36.9%
経常利益		9,547	1,177	232	6	274
当期純利益		6,823	805	150	4	177

エンジニアの構成 メイテック

技術分野/Technical field



年齢/According to age

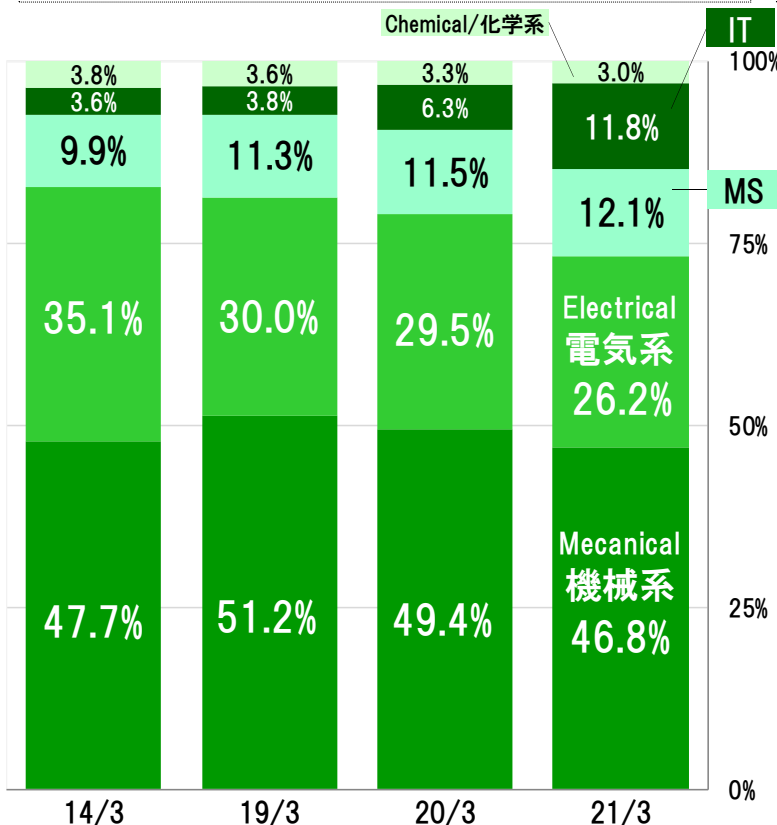


MS: Micro Computer System

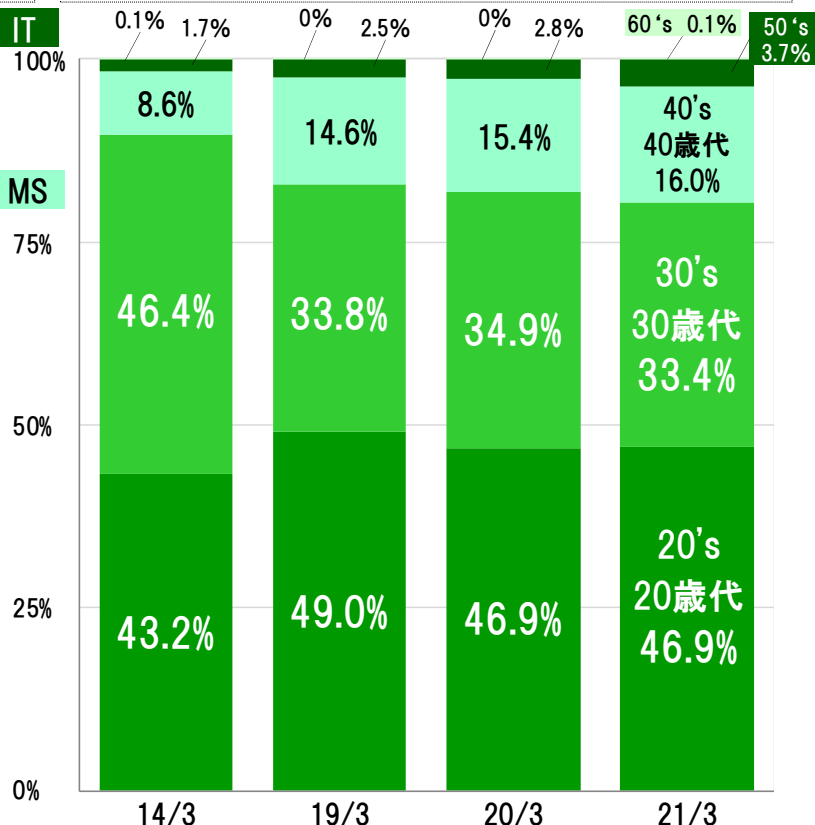
39

エンジニアの構成 メイテックフィルダーズ

技術分野/Technical field



年齢/According to age



MS: Micro Computer System

40

業種別売上高推移 メイテック

(百万円)

メイテック	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年3月期			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	19,555	21,183	22,214	22,513	20,239	28.3%	△ 2,274	△10.1%
航空機・ロケット関連	5,565	5,026	4,646	4,636	4,084	5.7%	△ 551	△11.9%
産業用機器、機械器具および装置関連	10,331	10,123	10,425	10,544	9,373	13.1%	△ 1,171	△11.1%
精密機器関連	5,245	5,809	6,389	7,069	7,516	10.5%	+446	+6.3%
情報通信機器関連	4,254	4,005	3,831	3,615	3,604	5.0%	△ 11	△0.3%
電気・電子機器、電気機械器具設計	8,193	8,405	8,172	7,831	7,119	10.0%	△ 712	△9.1%
半導体・集積回路関連	4,024	4,088	4,159	3,962	4,107	5.7%	+145	+3.7%
半導体製造装置関連	2,043	2,345	2,649	2,698	2,942	4.1%	+244	+9.1%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	5,008	5,233	5,347	5,778	5,871	8.2%	+92	+1.6%
プラント関連	2,518	2,547	2,608	2,823	2,664	3.7%	△ 159	△5.6%
建築関連	373	389	357	295	290	0.4%	△ 5	△1.8%
その他	2,968	3,094	3,234	3,526	3,638	5.1%	+112	+3.2%
合計	70,083	72,252	74,036	75,297	71,452	100.0%	△ 3,844	△5.1%

41

業種別売上高推移 メイテックフィルダース

(百万円)

メイテックフィルダース	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年3月期			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	5,455	5,843	6,406	6,761	6,117	28.7%	△ 644	△9.5%
航空機・ロケット関連	366	388	359	401	397	1.9%	△ 4	△1.1%
産業用機器、機械器具および装置関連	2,157	2,621	3,280	3,984	4,012	18.8%	+28	+0.7%
精密機器関連	1,760	2,149	2,395	2,709	2,838	13.3%	+128	+4.7%
情報通信機器関連	565	651	693	782	644	3.0%	△ 138	△17.6%
電気・電子機器、電気機械器具設計	1,827	1,984	2,169	2,231	2,191	10.3%	△ 40	△1.8%
半導体・集積回路関連	511	610	690	702	731	3.4%	+29	+4.2%
半導体製造装置関連	672	950	1,311	1,351	1,163	5.5%	△ 187	△13.9%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	336	466	513	766	1,142	5.4%	+376	+49.1%
プラント関連	561	588	601	710	922	4.3%	+212	+29.9%
建築関連	22	83	103	11	9	0.0%	△ 2	△17.4%
その他	628	642	809	969	1,136	5.3%	+167	+17.2%
合計	14,865	16,981	19,336	21,383	21,308	100.0%	△ 74	△0.4%

42

業績推移 グループ連結

(百万円)	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
売上高	83,223	82,229	82,102	79,898	53,776	61,790	66,955	70,330	74,906	82,136	87,888	89,979	93,618	97,736	100,995	96,626
売上原価	56,685	57,701	57,777	57,177	46,765	48,832	49,875	51,639	55,370	60,481	64,661	66,417	69,250	71,701	73,823	72,203
	原価率	68.1%	70.2%	70.4%	71.6%	87.0%	79.0%	74.5%	73.4%	73.9%	73.6%	73.8%	74.0%	73.4%	73.1%	74.7%
売上総利益	26,538	24,528	24,324	22,720	7,010	12,957	17,079	18,691	19,536	21,654	23,227	23,561	24,368	26,035	27,171	24,422
販売費及び一般管理費	14,053	12,946	12,959	13,439	11,939	10,337	11,629	12,337	12,556	12,114	12,352	12,418	12,910	13,399	14,245	14,188
	販管費率	16.9%	15.7%	15.8%	16.8%	22.2%	16.7%	17.4%	17.5%	16.8%	14.7%	14.1%	13.8%	13.8%	13.7%	14.1%
営業利益	12,485	11,581	11,365	9,280	▲4,928	2,620	5,450	6,354	6,979	9,540	10,874	11,142	11,458	12,635	12,926	10,234
営業利益率	15.0%	14.1%	13.8%	11.6%	▲9.2%	4.2%	8.1%	9.0%	9.3%	11.6%	12.4%	12.4%	12.2%	12.9%	12.8%	10.6%
営業外収益	137	74	84	87	4,729	2,146	114	97	50	113	29	20	19	15	55	81
営業外費用	59	169	115	107	77	178	32	24	51	10	58	17	11	7	6	9
経常利益	12,562	11,487	11,334	9,260	▲276	4,588	5,531	6,427	6,978	9,643	10,845	11,145	11,465	12,643	12,975	10,306
経常利益率	15.1%	14.0%	13.8%	11.6%	▲0.5%	7.4%	8.3%	9.1%	9.3%	11.7%	12.3%	12.4%	12.2%	12.9%	12.8%	10.7%
特別利益	538	5	6	13	32	378	—	58	—	20	1,084	31	337	26	—	—
特別損失	2,235	5,092	1,826	1,094	130	234	4	215	146	3,621	65	45	262	18	3	4
税金等調整前当期純利益	10,866	6,400	9,514	8,178	▲374	4,732	5,526	6,270	6,832	6,041	11,865	11,131	11,541	12,651	12,971	10,301
税金費用等	5,563	6,105	4,556	3,875	530	1,041	2,699	277	2,858	2,381	3,781	3,193	3,409	3,822	3,878	3,272
親会社株主に帰属する当期純利益	5,302	295	4,958	4,303	▲904	3,690	2,827	5,993	3,973	3,659	8,083	7,937	8,132	8,829	9,093	7,028
純利益率	6.4%	0.4%	6.0%	5.4%	▲1.7%	6.0%	4.2%	8.5%	5.3%	4.5%	9.2%	8.8%	8.7%	9.0%	9.0%	7.3%

業績推移 メイテック

(百万円)	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
売上高	61,425	61,795	62,956	60,457	41,319	48,260	53,188	55,822	58,876	64,675	68,878	70,083	72,252	74,036	75,297	71,452
売上原価	42,380	43,134	43,875	43,109	36,074	38,777	39,987	41,240	43,742	47,857	50,884	52,013	53,861	54,620	55,138	53,438
	原価率	69.0%	69.8%	69.7%	71.3%	87.3%	80.4%	75.2%	73.9%	74.3%	74.0%	73.9%	74.2%	74.5%	73.8%	74.8%
売上総利益	19,045	18,660	19,081	17,348	5,245	9,482	13,200	14,582	15,134	16,817	17,994	18,069	18,391	19,416	20,159	18,014
販売費及び一般管理費	7,913	8,039	8,620	8,540	8,210	7,758	8,587	9,179	9,382	8,891	8,932	8,856	9,048	9,258	9,776	9,414
	販管費率	12.9%	13.0%	13.7%	14.1%	19.9%	16.1%	16.1%	16.4%	15.9%	13.7%	13.0%	12.6%	12.5%	13.0%	13.2%
営業利益	11,131	10,621	10,460	8,807	▲2,964	1,724	4,613	5,402	5,751	7,925	9,061	9,213	9,342	10,157	10,382	8,600
営業利益率	18.1%	17.2%	16.6%	14.6%	▲7.2%	3.6%	8.7%	9.7%	9.8%	12.3%	13.2%	13.1%	12.9%	13.7%	13.8%	12.0%
営業外収益	458	4,988	356	564	3,840	1,976	389	314	426	523	517	601	769	769	913	956
営業外費用	33	109	48	76	53	150	14	19	426	10	52	16	6	6	5	8
経常利益	11,556	15,500	10,768	9,294	822	3,550	4,988	5,698	6,149	8,438	9,526	9,798	10,105	10,921	11,290	9,547
経常利益率	18.8%	25.1%	17.1%	15.4%	2.0%	7.4%	9.4%	10.2%	10.4%	13.0%	13.8%	14.0%	14.0%	14.8%	15.0%	13.4%
特別利益	102	5	3	7	2	3	—	462	—	324	1,088	200	364	16	—	—
特別損失	132	10,202	2,084	2,912	626	318	66	228	372	3,673	50	222	261	52	2	4
税引前当期純利益	11,526	5,304	8,687	6,389	197	3,236	4,921	5,932	5,776	5,089	10,563	9,776	10,208	10,885	11,287	9,542
税金費用等	4,706	5,388	3,749	3,391	144	1,094	2,331	▲124	2,352	1,749	3,171	2,702	2,747	3,117	3,174	2,719
当期純利益	6,820	▲83	4,938	2,998	53	2,141	2,590	6,056	3,425	3,340	7,391	7,073	7,461	7,768	8,112	6,823
純利益率	11.1%	▲0.1%	7.8%	5.0%	0.1%	4.4%	4.9%	10.8%	5.8%	5.2%	10.7%	10.1%	10.3%	10.5%	10.8%	9.5%

業績推移 メイテックフィルダース

(百万円)	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
売上高	10,382	10,748	10,747	10,582	7,050	8,175	8,510	9,349	10,587	11,911	13,327	14,865	16,981	19,336	21,383	21,308
売上原価	7,655	7,888	7,759	7,744	6,621	6,361	6,387	7,061	8,084	9,154	10,288	11,540	13,173	14,941	16,476	16,542
原価率	73.7%	73.4%	72.2%	73.2%	93.9%	77.8%	75.1%	75.5%	76.4%	76.9%	77.2%	77.6%	77.6%	77.3%	77.1%	77.6%
売上総利益	2,727	2,859	2,987	2,837	429	1,814	2,122	2,287	2,502	2,757	3,039	3,325	3,808	4,394	4,906	4,765
販売費及び一般管理費	1,357	1,551	1,677	2,018	1,890	1,238	1,585	1,639	1,646	1,682	1,834	1,978	2,351	2,660	2,962	3,586
販管費率	13.1%	14.4%	15.6%	19.1%	26.8%	15.1%	18.6%	17.5%	15.5%	14.1%	13.8%	13.3%	13.8%	13.8%	13.9%	16.8%
営業利益	1,369	1,308	1,310	819	▲1,461	575	537	648	856	1,073	1,204	1,346	1,456	1,734	1,944	1,178
営業利益率	13.2%	12.2%	12.2%	7.7%	▲20.7%	7.0%	6.3%	6.9%	8.1%	9.0%	9.0%	9.1%	8.6%	9.0%	9.1%	5.5%
営業外収益	3	3	10	6	848	182	3	3	1	—	—	1	—	1	1	—
営業外費用	—	1	1	—	5	1	—	—	15	—	—	1	4	—	—	2
経常利益	1,373	1,310	1,319	825	▲618	757	540	651	841	1,074	1,205	1,346	1,452	1,735	1,945	1,177
経常利益率	13.2%	12.2%	12.3%	7.8%	▲8.8%	9.3%	6.3%	7.0%	7.9%	9.0%	9.0%	9.1%	8.6%	9.0%	9.1%	5.5%
特別利益	6	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
特別損失	3	4	5	13	2	1	—	—	—	5	7	—	—	—	—	—
税引前当期純利益	1,376	1,306	1,314	811	▲620	756	540	651	841	1,068	1,198	1,346	1,453	1,735	1,945	1,177
税金費用等	560	537	544	344	313	▲187	264	272	358	420	412	301	422	444	484	370
当期純利益	816	768	769	467	▲933	943	275	378	483	648	786	1,045	1,031	1,291	1,461	805
純利益率	7.9%	7.1%	7.2%	4.4%	▲13.2%	11.5%	3.2%	4.0%	4.6%	5.4%	5.9%	7.0%	6.1%	6.7%	6.8%	3.8%

45

業績推移 メイテックネクスト

(百万円)	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
売上高		8	252	480	334	438	593	734	872	1,131	1,321	1,483	1,662	1,762	1,639	1,216
売上原価																
原価率																
売上総利益		8	252	480	334	438	593	734	872	1,131	1,321	1,483	1,662	1,762	1,639	1,216
販売費及び一般管理費		207	470	559	349	333	446	512	577	746	887	966	1,116	1,203	1,204	942
販管費率		2,587.5%	186.5%	116.5%	104.5%	76.0%	75.2%	69.8%	66.2%	66.0%	67.1%	65.1%	67.2%	68.2%	73.5%	77.5%
営業利益		▲198	▲217	▲78	▲14	104	147	221	295	385	433	517	545	559	434	273
営業利益率		▲2,475.0%	▲86.1%	▲16.3%	▲4.2%	23.7%	24.8%	30.1%	33.8%	34.0%	32.8%	34.9%	32.8%	31.8%	26.5%	22.5%
営業外収益		—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
営業外費用		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
経常利益		▲198	▲217	▲78	▲12	106	147	221	295	385	433	517	545	559	432	274
経常利益率		▲2,475.0%	▲86.1%	▲16.3%	▲3.6%	24.2%	24.8%	30.1%	33.8%	34.0%	32.8%	34.9%	32.8%	31.7%	26.4%	22.5%
特別利益		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
税引前当期純利益		▲198	▲217	▲78	▲13	106	147	221	295	385	433	517	544	559	432	274
税金費用等		—	—	1	—	—	—	19	95	141	145	182	193	198	152	96
当期純利益		▲199	▲217	▲79	▲14	105	147	201	200	243	288	334	350	361	279	177
純利益率		▲2,487.5%	▲86.1%	▲16.5%	▲4.2%	24.0%	24.8%	27.4%	22.9%	21.5%	21.8%	22.6%	21.1%	20.5%	17.1%	14.6%

46

バランスシート推移 グループ連結

(百万円)	2007/3/31	2008/3/31	2009/3/31	2010/3/31	2011/3/31	2012/3/31	2013/3/31	2014/3/31	2015/3/31	2016/3/31	2017/3/31	2018/3/31	2019/3/31	2020/3/31	2021/3/31
現金・預金	16,177	18,512	18,526	14,732	23,999	26,686	26,592	30,104	34,773	35,413	37,259	41,753	45,052	47,033	45,132
受取手形・売掛金	13,256	12,841	10,985	9,582	10,245	10,675	10,887	11,297	12,858	13,823	13,400	13,816	13,884	14,696	14,600
流動資産合計	35,564	35,356	33,295	28,444	37,661	40,643	41,802	44,998	51,639	53,104	54,742	59,325	60,036	62,679	60,885
有形固定資産	14,548	13,374	12,818	12,069	11,688	11,257	10,908	10,555	7,207	5,721	5,552	5,399	5,402	5,332	5,122
固定資産合計	21,914	22,428	20,934	19,180	18,053	16,915	16,199	16,447	13,458	11,363	11,634	11,608	14,579	14,814	14,153
資産合計	57,479	57,784	54,230	47,625	55,714	57,559	58,002	61,445	65,098	64,468	66,377	70,934	74,615	77,493	75,038
流動負債合計	12,559	13,764	11,026	6,392	10,016	11,165	9,683	12,589	15,797	13,650	14,662	16,176	16,927	17,228	14,272
固定負債合計	6,236	6,422	7,034	7,789	8,603	9,183	9,895	12,667	11,735	13,212	13,860	14,617	15,317	15,937	16,294
負債合計	18,795	20,186	18,061	14,181	18,619	20,349	19,579	25,257	27,532	26,862	28,523	30,794	32,244	33,166	30,566
株主資本	39,144	38,048	36,747	34,101	37,745	38,017	39,264	38,299	39,619	39,973	39,970	42,078	44,173	45,950	45,898
その他	▲461	▲449	▲577	▲658	▲651	▲808	▲841	▲2,111	▲2,054	▲2,367	▲2,116	▲1,939	▲1,802	▲1,623	▲1,426
純資産合計	38,683	37,598	36,169	33,443	37,094	37,209	38,422	36,188	37,565	37,605	37,854	40,139	42,371	44,327	44,472

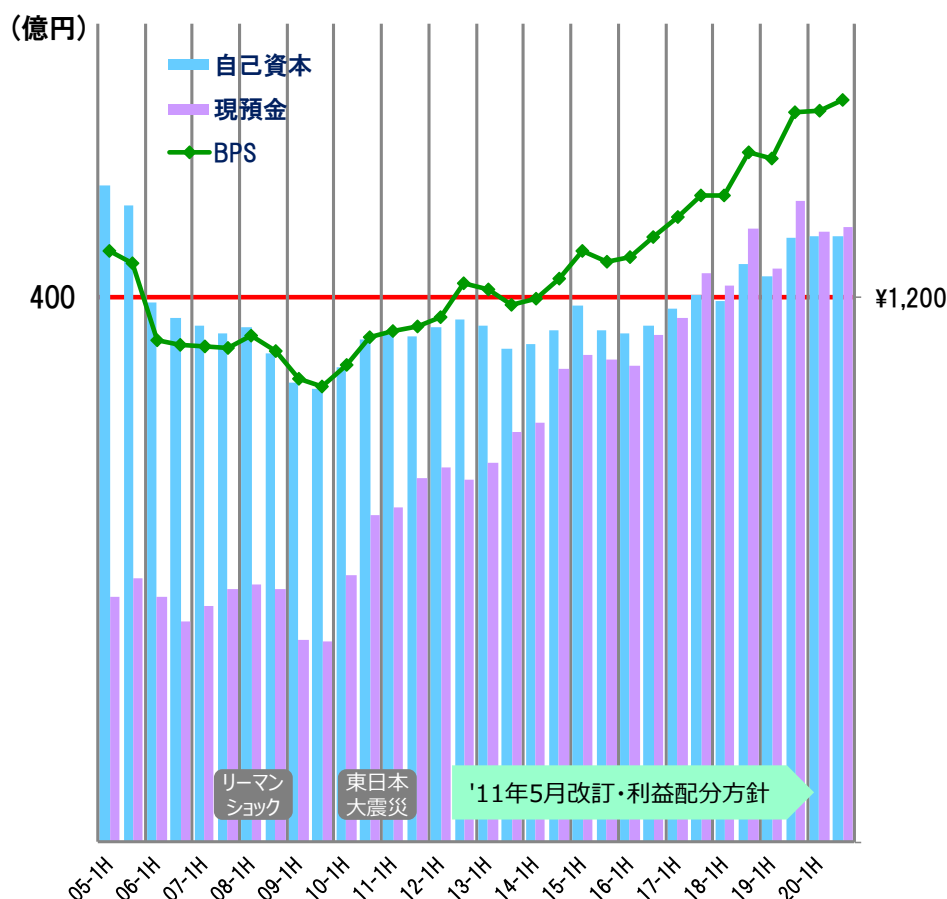
営業活動CF	6,010	8,486	6,308	▲1,545	9,291	5,753	5,205	8,893	8,434	6,910	10,186	10,957	10,273	9,837	5,487
投資活動CF	▲955	124	623	▲19	287	▲292	▲465	▲398	▲275	1,487	▲325	▲464	▲240	▲536	▲307
財務活動CF	▲8,366	▲5,997	▲5,580	▲1,835	▲104	▲2,769	▲4,837	▲4,991	▲3,495	▲7,752	▲8,011	▲5,999	▲6,734	▲7,319	▲7,080
現金の増減額	▲3,303	+2,634	+1,313	▲3,394	+9,467	+2,691	▲93	+3,511	+4,668	+643	+1,845	+4,493	+3,298	+1,980	▲1,900

47

利益配分実績と予想

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	実績 2020年度	予想 2021年度
(百万円未満・四捨五入)												
総還元性向(連結)	24.7%	92.9%	99.0%	101.2%	116.8%	100.0%	100.1%	80.0%	80.0%	80.0%	100.1%	
配当性向(連結)	24.7%	68.5%	53.2%	56.1%	92.4%	53.5%	55.2%	61.8%	63.3%	61.5%	71.9%	
純資産配当率(連結)	2.6%	5.2%	8.4%	6.0%	9.2%	11.4%	11.6%	12.9%	13.6%	12.9%	11.4%	
年間配当												
1株当たり	@¥27.50	@¥58.50	@¥99.00	@¥72.00	@¥111.00	@¥144.00	@¥151.50	@¥177.00	@¥199.50	@¥202.00	@¥184.00	
金額(百万円)	911	1,925	3,134	2,220	3,373	4,286	4,344	5,008	5,567	5,575	5,033	
中間配当												
1株当たり		@¥29.00	@¥30.00	@¥31.50	@¥44.00	@¥63.00	@¥68.00	@¥74.50	@¥84.00	@¥86.50	@¥68.50	@¥77.50
金額(百万円)		961	981	983	1,344	1,908	1,968	2,119	2,344	2,387	1,891	2,109
期末配当												
1株当たり	@¥27.50	@¥29.50	@¥69.00	@¥40.50	@¥67.00	@¥81.00	@¥83.50	@¥102.50	@¥115.50	@¥115.50	@¥115.50	
金額(百万円)	911	965	2,153	1,237	2,029	2,378	2,375	2,889	3,223	3,188	3,143	
自己株式取得												
株数(千株)		421	1,506	641	269	921	915	257	280	303	390	
金額(百万円)		700	2,800	1,800	899	3,799	3,600	1,500	1,500	1,700	2,000	
総利益配分額 (百万円)	911	2,625	5,934	4,020	4,273	8,086	7,944	6,508	7,067	7,275	7,033	
株式消却												
株数(千株)		400	1,700	500	300	900	1,300		700	300	400	
株価												
期初4月1日	¥1,893	¥1,621	¥1,681	¥2,193	¥2,857	¥3,965	¥3,865	¥4,505	¥5,960	¥5,130	¥4,065	¥6,040
期末3月31日	¥1,664	¥1,669	¥2,343	¥2,930	¥4,025	¥3,935	¥4,520	¥5,890	¥5,030	¥4,300	¥6,110	
1株当たり当期純利益	@¥111.33	@¥85.45	@¥186.08	@¥128.30	@¥120.12	@¥269.24	@¥274.32	@¥286.64	@¥315.43	@¥328.36	@¥255.78	
1株当たり純資産	@¥1,112.69	@¥1,135.10	@¥1,229.62	@¥1,182.85	@¥1,238.78	@¥1,278.59	@¥1,330.57	@¥1,424.01	@¥1,518.42	@¥1,606.03	@¥1,634.43	

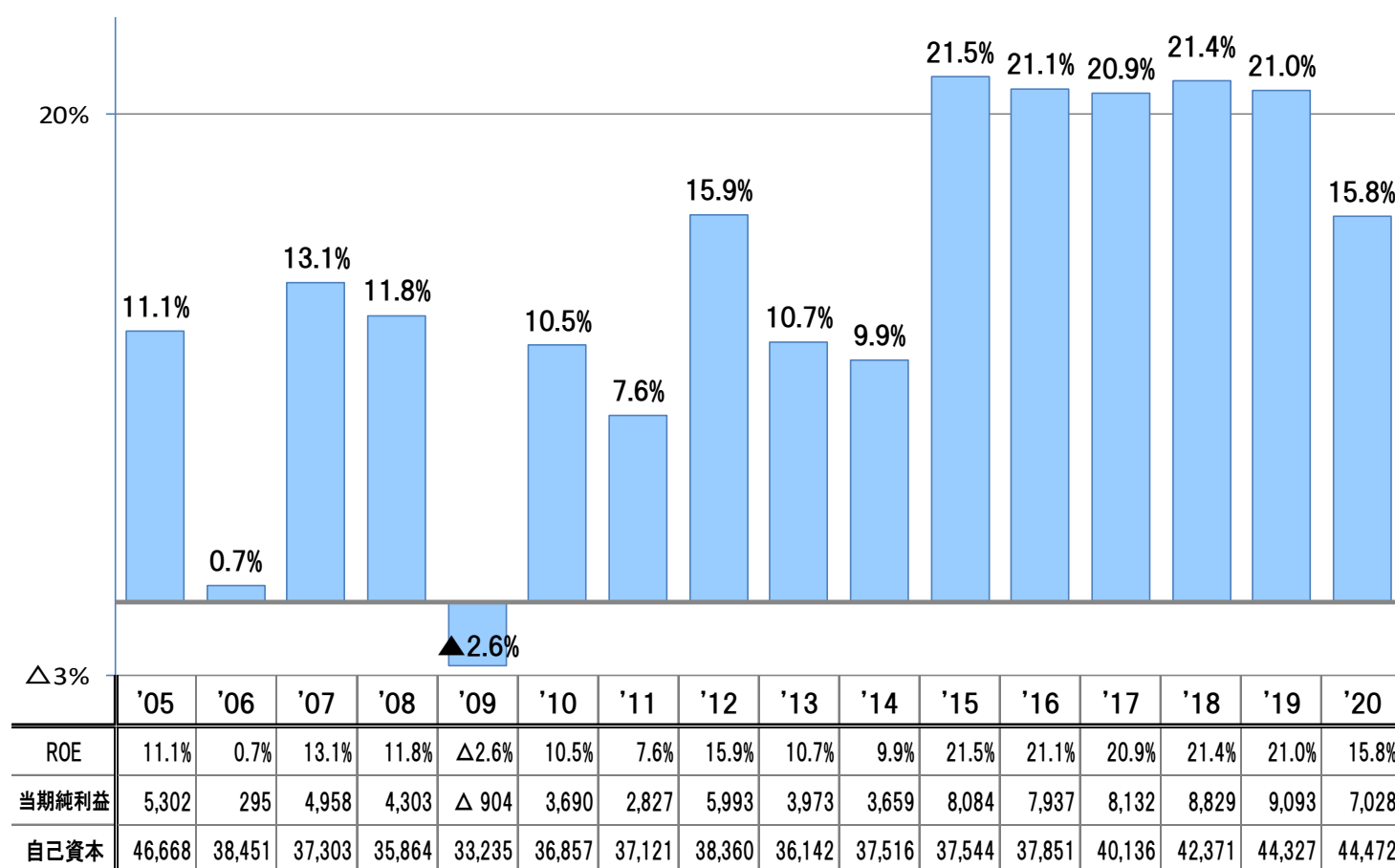
48



- ・無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠
→エンジニアは、安定雇用を前提として、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける
- ・そのためには、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の“質と量”の充実」を優先する

49

連結自己資本当期純利益率:ROE



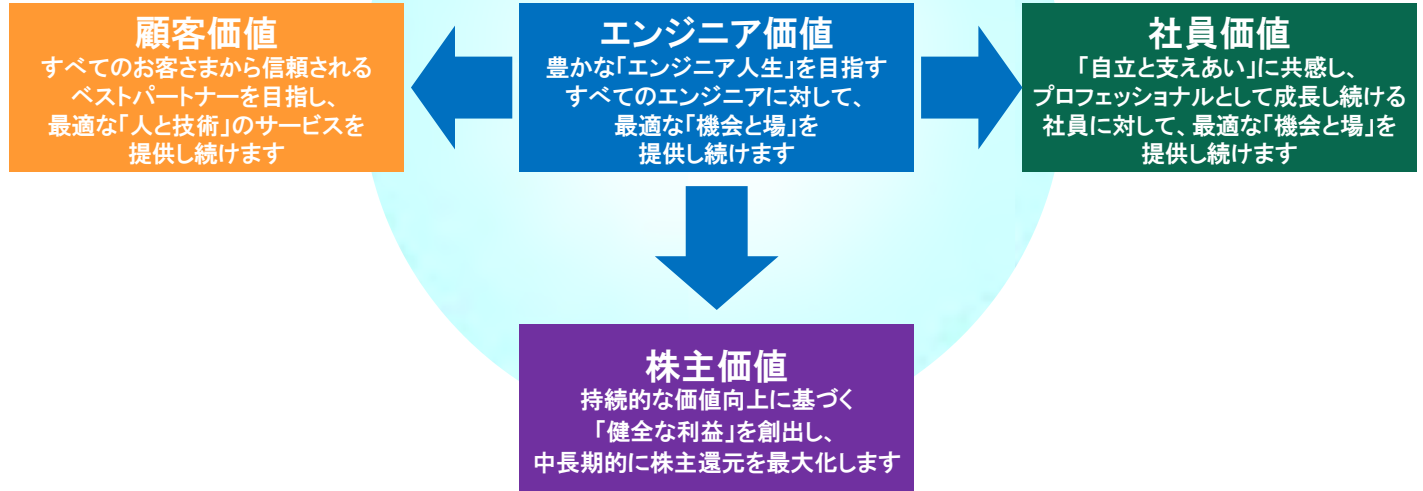
50

グループの目指すべき姿～5つの価値

私たちメイテックグループは、全社員がつながりあい、
エンジニア価値を起点として、5つの価値を持続的に向上させます

〔経営理念〕
共生と繁栄

〔コーポレートスローガン〕
人と技術で次代を拓く

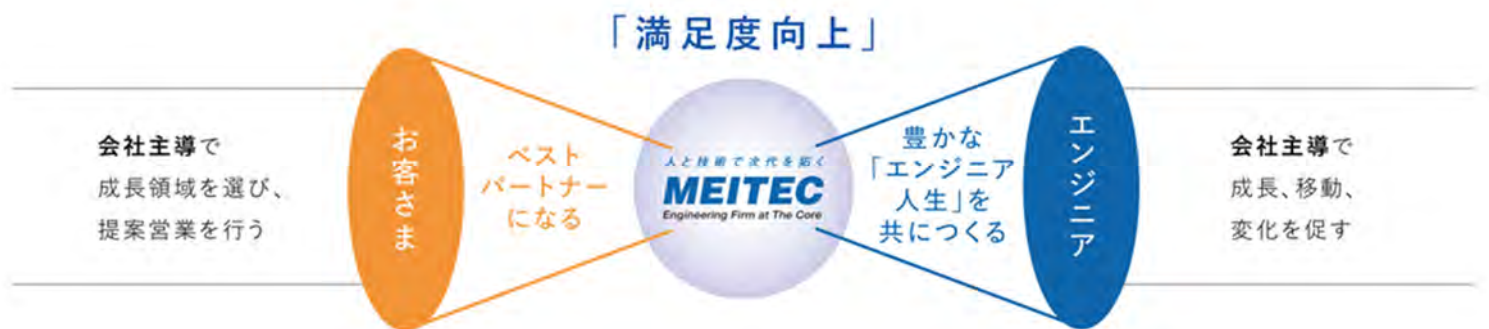


51

追求すべき目的

The Transformation

お客さまとエンジニアのさらなる「満足度向上」へ



52

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、
エンジニア集団です

エンジニアに豊かな「エンジニア人生」を提供し、
お客さまにとって欠かせない真の「ベストパートナー」を実現していく存在でありたい。

今まで「人と技術で次代を拓いてきた」私たちだからこそ、今、
そしてこれからもエンジニア採用市場・労働市場と設計・開発業務市場の
双方において、“核心”を担える集団であり続けます。



53

Engineering Firm

メイテックグループの社員一人ひとりが
「自立と支え合い」の精神でお互いを高め合い、
成長し続けるエンジニアのプロフェッショナル集団であること

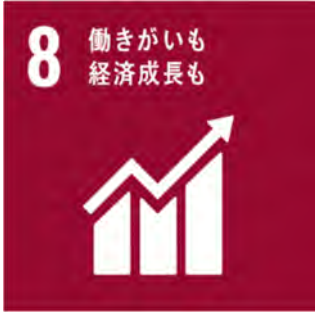
The Core

製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を
創り出す存在であること

世の中のエンジニアが職業を軸に働き続ける上で、
「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であること

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、
エンジニア集団です

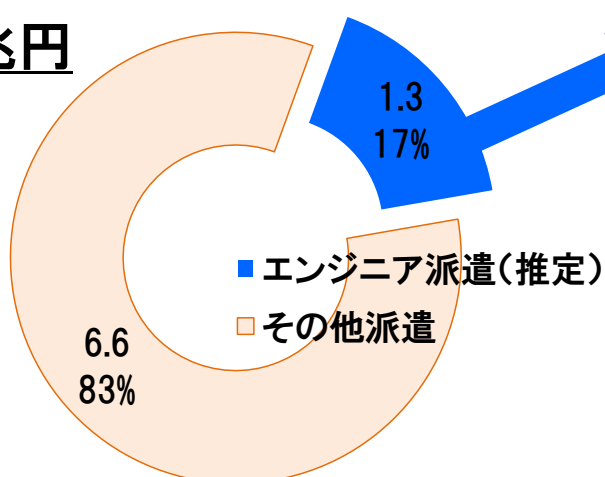
E 環境	S 社会	G ガバナンス
9 産業と技術革新の基盤をつくろう  - 技術革新を推進し、環境・エネルギー等の課題解決に貢献 - 技術革新とイノベーションを推進し産業と経済成長に貢献	8 働きがいも経済成長も  プロフェッショナルな労働市場の創出を通じて、持続可能な経済成長に貢献	4 質の高い教育をみんなに  高度な技術教育と生涯学習の促進 5 ジェンダー平等を実現しよう  国籍・性別・年齢に関わらず、公平な「機会と場」の提供 16 平和と公正をすべての人に  グループCG方針社員行動規範の遵守徹底

55

エンジニア派遣市場(推定)

2019年度の労働者派遣事業・売上高

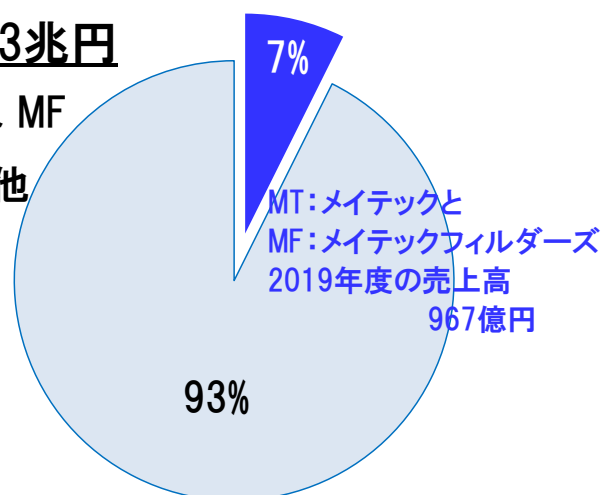
7.9兆円



エンジニア派遣市場(推定)

推定1.3兆円

■ MT & MF
□ その他



2021年3月

メイテック

¥5,324

メイテックフィルダース

¥3,841

エンジニア派遣
(推定)

約¥3,700

I. 会社の機関

1. 組織形態 監査役設置会社

2. 会社独自の取り組み

① コーポレートガバナンス委員会 委員長: 社外取締役、委員: 取締役全員

- ・取締役会の実効性に関する分析・評価
- ・ガバナンス等の基本事項ほかの協議

② 役員人事諮問委員会 委員長: 社外取締役、委員: CEOと社外取締役

プロセスの適正性の評価

- ・代表取締役CEOの選解任
- ・社内業務執行取締役のパフォーマンス評価
- ・取締役・監査役候補者の指名
- ・社内業務執行取締役の報酬

CEO候補者選考協議会

II. 取締役・監査役(2021年3月31日現在)

	取締役	監査役	合計
人数	9	4	13
うち独立社外	4	4	8
比率	44%	100%	62% > 出席者の1/3以上

構成の方針

出席者の1/3以上

III. 役員報酬

固定報酬

	改正: 2019年3月26日～		
代表取締役社長 グループCEO、CEO兼COO	年額	28,800千円	(月額 2,400千円)
取締役副社長	年額	24,000千円	(月額 2,000千円)
取締役	年額	19,200千円	(月額 1,600千円)
社外取締役	年額	9,000千円	(月額 750千円)
常勤監査役	年額	24,000千円	(月額 2,000千円)
非常勤監査役	年額	7,800千円	(月額 650千円)

取締役(のみ)に対する業績連動報酬など

	改正: 2016年4月1日～	
連結当期純利益(業績連動 役員報酬を含まない)金額の	2.5%以内 上限: 年額250百万円	
うち社外取締役	支給対象外	
うち税引後の20%相当額を	自社株式取得に充当 (役員持株会方式)	

57

株主セグメント別保有状況

株主セグメント	2021年3月31日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	9	0.2%	245,500	0.9%
信託銀行	18	0.4%	7,971,000	27.9%
生保・損保会社	27	0.6%	3,635,983	12.7%
証券金融・その他金融会社	7	0.2%	34,360	0.1%
証券会社	25	0.6%	220,373	0.8%
事業会社・その他法人	66	1.5%	157,011	0.6%
外国法人・外国人	241	5.3%	12,390,413	43.3%
個人その他	4,145	91.3%	3,945,360	13.8%
合計	4,538	100.0%	28,600,000	100.0%

58

本 社	東京都台東区
本 店	愛知県名古屋市西区
証券コード	9744(東証1部)
設 立	1974年(昭和49年)7月17日
取 引 先	株式1部・2部上場企業および優良中堅企業約1,200社
営 業 拠 点	東京・名古屋・大阪など国内主要都市41拠点
グ ル ー プ 会 社	【エンジニアリングソリューション事業】 ■ 株式会社メイテックフィルダーズ ■ 株式会社メイテックキャスト ■ 株式会社メイテックEX ■ 株式会社メイテックビジネスサービス 【エンジニア紹介事業】 ■ 株式会社メイテックネクスト

一社でも多くのお客さまに、
一人でも多くのエンジニアに、
メイテックグループを活用いただき、
感動や喜びを実感できる
「機会と場」の拡大を目指します。

代表取締役社長
メイテックグループCEO 國分 秀世